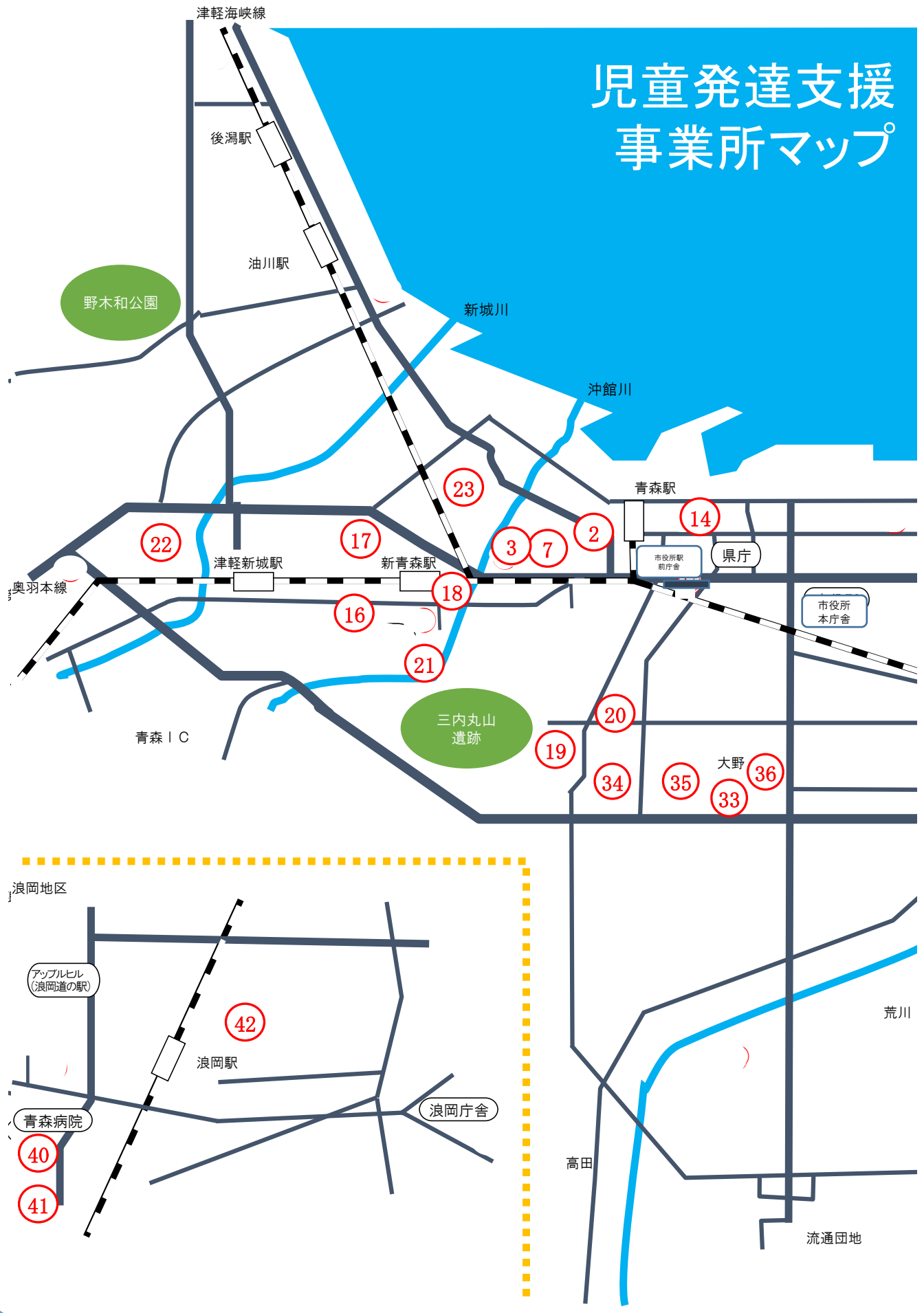


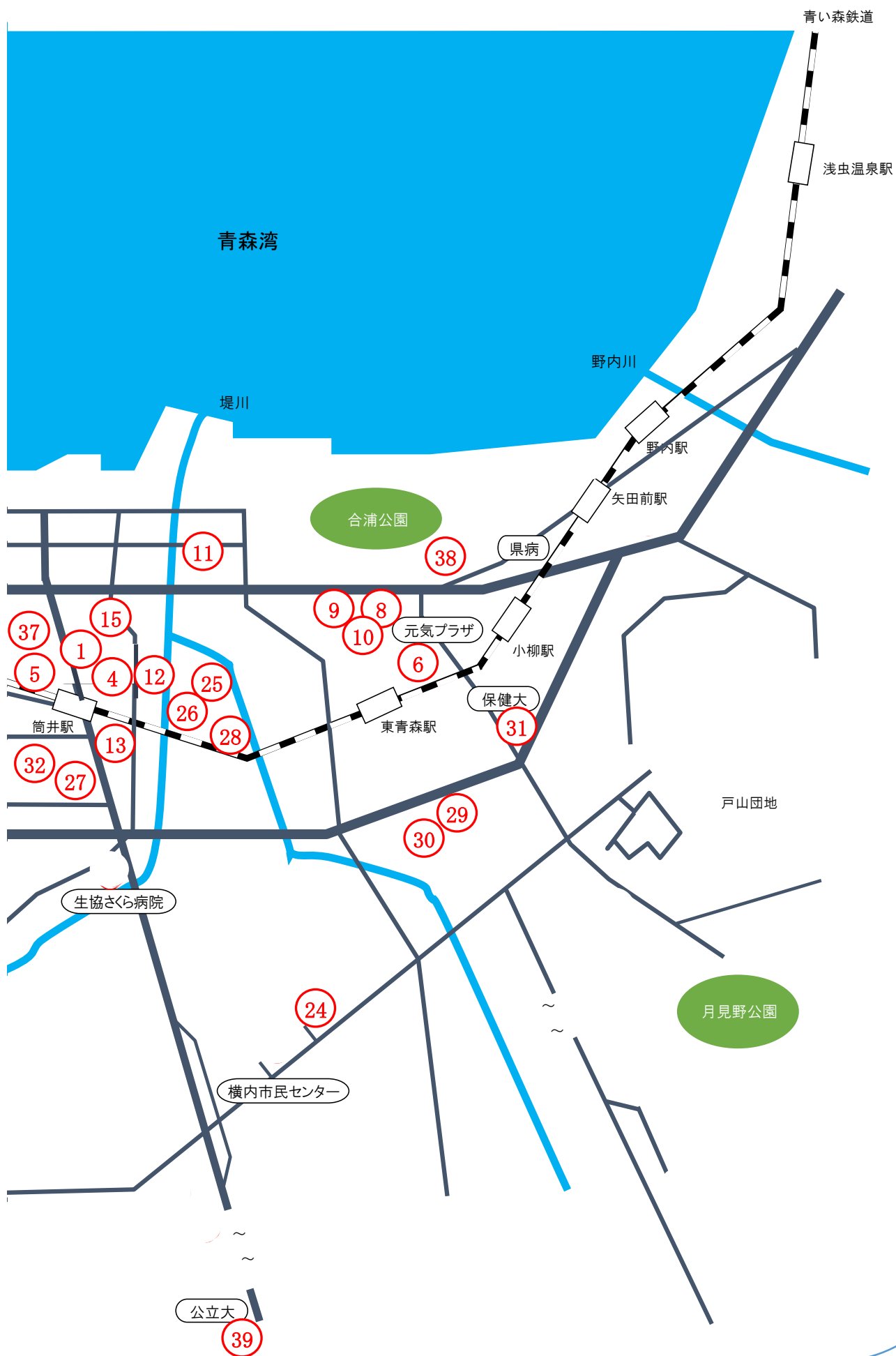
青森市内障害児通所支援 事業所調べ (令和8年3月現在)



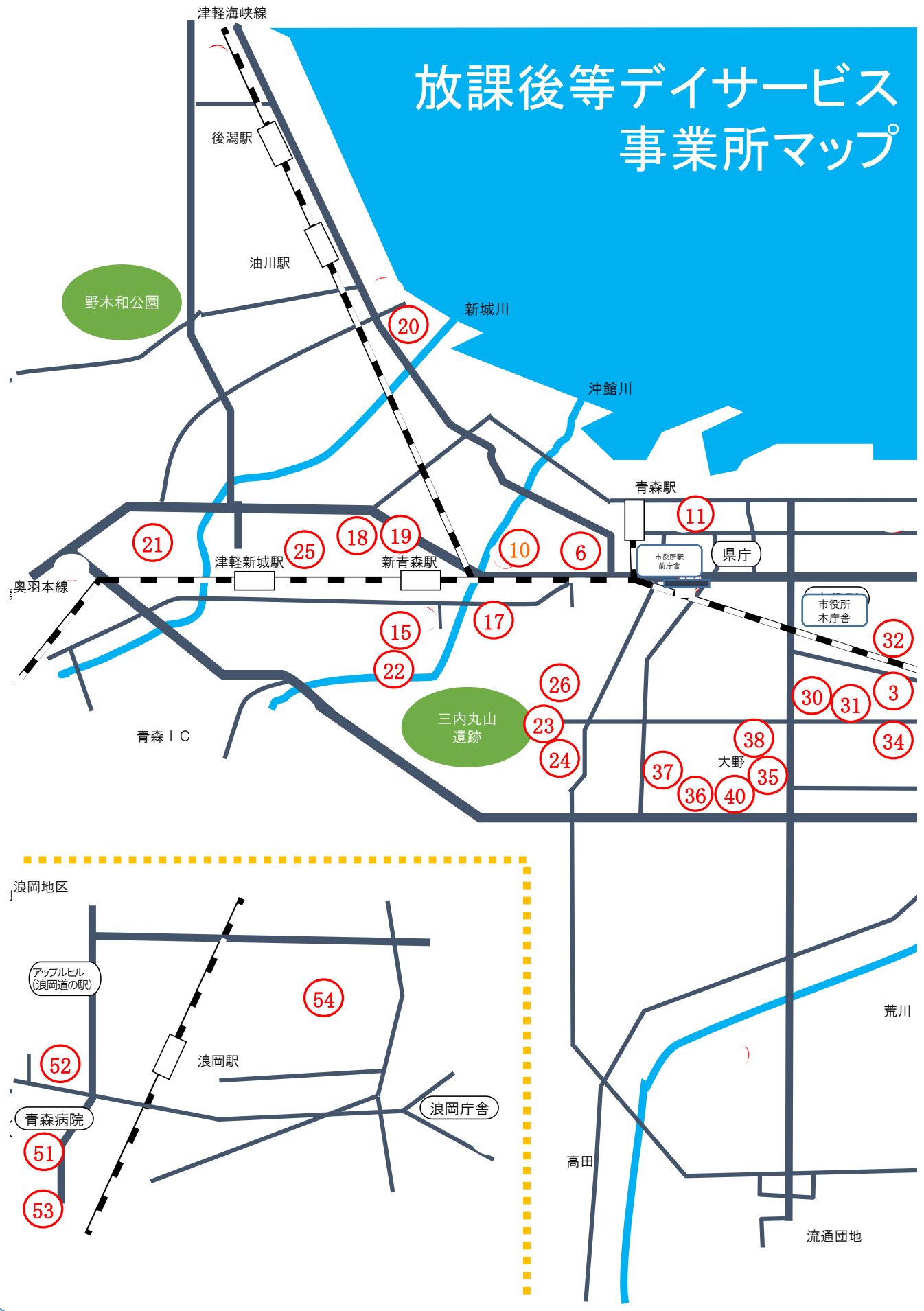
青森市 障がい者支援課作成

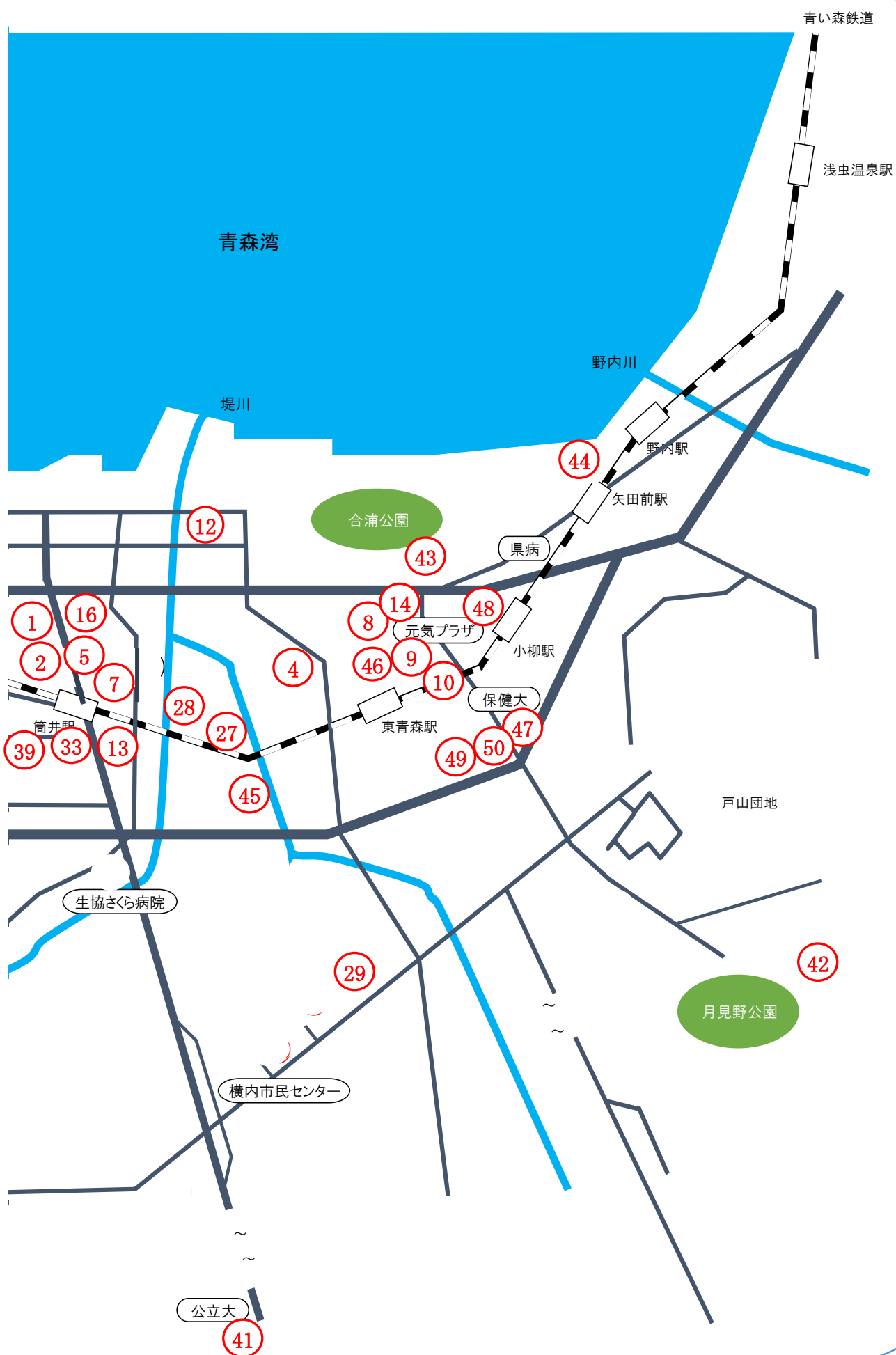
児童発達支援 事業所マップ





放課後等デイサービス 事業所マップ





【中央部】

【中央部】

No.	種類	児童発達支援	児童発達支援
1	事業所名	①ゆうきっずぴあ	②こどもサポート教室「クラ・ゼミ」 青森篠田校
2	住所	青森市勝田2丁目18-1 サニーパーク平和公園1階	青森市篠田2丁目1-4
3	電話	757-9774	763-5225
4	FAX	757-9776	763-5225
5	利用日・時間	月～金(土日祝、年末年始を除く) 9時半～12時半	月～土(祝・祭日) 10時～19時
6	定員	放課後等デイサービスと合わせて10名	放課後等デイサービスと合わせて10名
7	空き状況(R8.3.1現在)	なし	相談ください(2才～3才)
8	スタッフの人数	管理者兼児発管:1名 保育士:4名 児童指導員:1名	5名(臨床心理士含む)
9	車椅子を使用している児童の受入の可否	不可	不可
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	無	無
12	単独通所支援又は親子通所支援	単独通所支援	親子・単独通所支援
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	9時半登園、自由遊び、お片付け、個別指導、集団指導	個別支援 1時間 小集団療育 1～2時間
14	就学までに備える力として意識して支援している内容	・基本的な生活習慣を身につけること ・援助要求のスキル	個々の発達の状態に合わせ、主体性を重んじ、意欲と自信を育みます。
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	－	スケジュールの提示
16	保育園等を併用している児童の人数	－	13名
17	保育園等との具体的な連携内容	－	保護者様の要望により情報交換等を行っています。
18	利用相談窓口担当者氏名	管理者 新山 千尋	小山
19	担当者と連絡がとりやすい時間帯	9:00～18:00	10:00～19:00

【中央部】

【中央部】

No.	種類	児童発達支援	児童発達支援
1	事業所名	③サポートハウス ミライエ	④こどもサポート教室「クラ・ゼミ」 青森松原校
2	住所	青森市篠田3丁目12-57	青森市松原3丁目9-47 エクセレンス松原1階C号
3	電話	017-764-0373	718-1237
4	FAX	017-764-0378	718-1237
5	利用日・時間	月曜日～金曜日	月～土 10時～19時
6	定員	10人	放課後等デイサービスと合わせて10名
7	空き状況(R8.3.1現在)	若干	児発のみ空きあり
8	スタッフの人数	4人	指導員5名
9	車椅子を使用している児童の受入の可否	要相談	不可
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	有	無
12	単独通所支援又は親子通所支援	単独通所支援	親子・単独通所支援
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	支援時間は9時から11時、14時から16時。送迎、または保護者送迎にて来所。プログラムを提示し活動に取り組む。	個別支援 1時間 (例)挨拶→始まりの会(小集団)→各ブースにて(個別)課題→挨拶→フィードバック 必要に応じて小集団支援も実施
14	就学までに備える力として意識して支援している内容	自発性を促し自立できるよう支援している。	個々の発達の状態に合わせ、主体性を重んじ、意欲と自信を育みます。
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	視覚的なものでわかりやすくスケジュールや説明、位置などを提示、集団活動において個々の目標を設定し、スモールステップで行動を促し称賛を受けて適切な言動が身に付くよう支援している。	・必要に応じて構造化を行っています。 ・スケジュールの提示をして、見通しをもって行動できるように配慮しています。
16	保育園等を併用している児童の人数	25人	16名
17	保育園等との具体的な連携内容	送迎時、関係機関連携などを通じて利用者の体調や最近の様子、保育園での環境の変化、困りごとなど共有している。	保護者様の要望により情報交換等を行っています。
18	利用相談窓口担当者氏名	三上	伊藤 壮一
19	担当者と連絡がとりやすい時間帯	9時から17時	10:00～19:00

【中央部】

【中央部】

No.	種類	児童発達支援	児童発達支援
1	事業所名	⑤児童発達支援・放課後等デイサービス レアリアルあつぷ	⑥放課後等デイサービスきらら佃
2	住所	青森市桂木4丁目2-1	青森市佃2丁目4-29 2F
3	電話	017-721-0130	752-8668
4	FAX	017-721-0131	752-8667
5	利用日・時間	月～金(祝日営業なし) 9:00～18:00 サービス提供10:00～11:30	月～土、祝日営業(土曜日は第2土曜日のみの営業) 10時～12時半 休み:日曜/5月3日～5日/8月13日～15日/12月30日～1月3日
6	定員	10名(児発・放デイ合わせて)	放課後等デイサービスと合わせて10名
7	空き状況(R8.3.1現在)	なし	応相談
8	スタッフの人数	6名(R5.4.1～)	管理者兼児発管1名 保育士3名 児童指導員1名
9	車椅子を使用している児童の受入の可否	不可	現在は受入無し
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	不可
11	送迎の有無	有	有
12	単独通所支援又は親子通所支援	単独通所支援	単独通所支援
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	～10:00 来所(送迎) 10:10 朝の会、絵本 10:15 個別課題 10:20 余暇、運動活動 10:50 お茶休憩 11:00 送迎 ※給食時間に合わせるため早めに出発	個別学習・運動・遊び(感覚統合を取り入れたもの) おやつ・自立課題・レクリエーション・振り返り
14	就学までに備える力として意識して支援している内容	・見通しを持って生活するスキル(視覚的手立ての活用) ・場面の切り替えへの対応力 ・運動の楽しさを知り、継続的に取り組む力を養う	特性の理解と状況に合わせた対応 TEACCH法などで子供の実態やニーズに応じた実践 自己肯定感を高める支援
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	・スケジュール、タイマーの活用 ・部屋配置をパーテーションで仕切り、環境を構造化 ・PECS等の絵カードを利用したコミュニケーションのサポート	スケジュールの構造化(絵、写真)・視覚構造化(写真と実物の対応)・SSTカードを場面に応じ使用(社会性を養う)
16	保育園等を併用している児童の人数	全児童8名	8名
17	保育園等との具体的な連携内容	保育所等訪問支援	送迎時に保護者より当日の様子を伺う 要望に応じて保育園等の支援会議の出席
18	利用相談窓口担当者氏名	中川 敏之(管理者)	管理者兼児発管 瀧澤 翼
19	担当者と連絡がとりやすい時間帯	9:00～14:00、16:00～17:00	10:00～17:00

【中央部】

【中央部】

No.	種類	児童発達支援	児童発達支援
1	事業所名	⑦放課後等デイサービス きらら篠田	⑧きやんばす
2	住所	青森市篠田2丁目20-2	青森市岡造道1丁目2-16
3	電話	017-718-0090	757-9371
4	FAX	017-718-0091	757-9372
5	利用日・時間	月～金、祝日10:00～12:30 月1回(第2)土曜日営業、他土日は休業	月曜日～金曜日 午前9:00～午後5:00まで (祝祭日、12月29日～翌年年末年始を除く。 夏季休暇については事前連絡)
6	定員	放課後等デイサービスと合わせて10名	各日10名
7	空き状況(R8.3.1現在)	応相談	空きなし
8	スタッフの人数	管理者兼児発管 1名 保育士 3名 児童指導員 1名	管理者1名、児童発達支援管理責任者1名、保育士5名、 保育士(パート社員)2名、児童指導員1名
9	車椅子を使用している児童の受入の可否	現在は受け入れなし	不可
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	無	有
12	単独通所支援又は親子通所支援	単独通所支援	単独通所支援
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	個別学習・運動・遊び(感覚統合を取り入れたもの)・おやつ・自立課題・レクリエーション・振り返り	・週1回音楽療法 ・月4～6回のビジョントレーニング ・生活支援、行事活動、昼食、おやつ ・集団活動(運動、季節の制作、戸外活動等) ・個別指導(自立課題)
14	就学までに備える力として意識して支援している内容	特性の理解と状況に合わせた対応 TEACCH法などで子どもの実態やニーズに応じた実践 自己肯定感を高める支援	・健康な心と体 ・自立心と協調性 ・量、図形、文字等への関心や感覚 ・自分なりの感情表出(言葉による伝え合い) ・道徳性、規範意識の芽生え
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	スケジュールの構造化(絵、写真)・視覚構造化(写真と実物の対応) SSTカードを場面に使用(社会性を養う)	・文字、イラストでの視覚的構造化 ・スケジュールの提示 ・刺激調整(パーテーション等)
16	保育園等を併用している児童の人数	0名(現在は利用児童無)	22名
17	保育園等との具体的な連携内容	送迎時に保護者より当日の様子を伺う 要望に応じて保育園等の支援会議の出席	・必要に応じて保育所等や関係機関との会議等の開催 ・訪問を行い、様子や状況等の情報共有
18	利用相談窓口担当者氏名	管理者 石澤 悠	児童発達支援管理責任者 畑田
19	担当者と連絡がとりやすい時間帯	9:30～17:00	9:00～18:00

【中央部】

【中央部】

No.	種類	児童発達支援	児童発達支援
1	事業所名	⑨ビリーブ児童デイサービス青森東	⑩KidsStudioねこのて
2	住所	青森市浪打1丁目14-3	青森市浪打2丁目2-8
3	電話	017-752-0111	017-718-2936
4	FAX	017-752-0112	017-718-2134
5	利用日・時間	月～金 営業時間 9:00～17:30 (サービス提供時間 10:00～12:00)	月～土 10:00～16:00 (日、祝日 年末年始を除く)
6	定員	10名(多機能型)	1日10名
7	空き状況(R8.3.1現在)	空きなし	あり(要相談)
8	スタッフの人数	管理者兼児童発達支援管理責任者 1名 保育士 5名 看護師 1名 児童指導員 1名	管理者兼保育士 1名 保育士 1名 支援員 1名 児童発達支援管理責任者 1名 給食調理員 1名
9	車椅子を使用している児童の受入の可否	可	不可
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	有	有
12	単独通所支援又は親子通所支援	単独通所支援	単独通所支援
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	・個別セッション(支援員と1対1で行う活動) ・集団活動(レクリエーション、行事等小グループで行う活動) ・余暇、遊び	10:00～午前の活動(個別、小集団) 11:30～昼食 12:30～お昼寝、送り 15:00～起床、おやつ 16:00～お帰り、送り
14	就学までに備える力として意識して支援している内容	・基本的日常生活動作の向上 ・運動、動作の向上 ・学習体制の確立 ・集団での活動に慣れる ・個々の発達段階に合わせた活動プログラムの組み立て ・体験する機会	・コミュニケーション力 ・意欲 ・協調性 ・向上心
15	発達障害の児童に対する構造化支援 (※)の内容 ※構造化支援…スケジュールや部屋の 配置等をわかりやすく提示すること。	・スケジュールの使用 ・ワークシステムの使用 ・視覚的構造化	個別に対応しています
16	保育園等を併用している児童の人数	1名	16名
17	保育園等との具体的な連携内容	・担当者会議への参加 ・保護者様からの情報提供 ・送迎時等において情報交換	・定期的に担当者会議の開催 ・送迎時にその日の様子の共有 ・必要に応じて、保育所等訪問支援の提案
18	利用相談窓口担当者氏名	澤田	鳴海 真緑
19	担当者と連絡がとりやすい時間帯	9:00～18:00(月～金)	営業曜日、営業時間内

【中央部】

【中央部】

No.	種類	児童発達支援	児童発達支援
1	事業所名	⑪こどもプラス 青森東教室	⑫藤児童発達支援センター くれよんはうす
2	住所	青森市茶屋町6-14	青森市奥野3-7-1
3	電話	752-7875	718-3802
4	FAX	752-7876	718-3803
5	利用日・時間	月～土 10:00～12:00 日・祝日は休み、8/13～8/15、12/29～1/3 休み	月～金(9:30～17:00、延長支援8:30～9:30、14:30～17:00) 土(9:30～13:00、延長支援8:30～9:30) 日、祝日は休み
6	定員	10名(放課後等デイサービスと合算)	12名
7	空き状況(R8.3.1現在)	曜日によっては空き有り	曜日によっては可能
8	スタッフの人数	保育士3名 社会福祉士1名 管理者兼児童発達支援管理責任者1名	管理者兼児発管1名、児童指導員3名、保育士5名、 事務員1名、調理員1名
9	車椅子を使用している児童の受入の可否	不可	不可
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	無	無
12	単独通所支援又は親子通所支援	単独通所支援	単独通所支援(※利用開始時は1～3日程度親子登園有)
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	1.朝の会 2.運動療育プログラム(運動遊び) 3.静かな活動(絵本の読み聞かせ、フラッシュカード) 4.個別課題、製作活動	8:30～延長支援 9:30～順次登園。身辺処理、排泄、手洗い、うがい指導、個別指導面談、自由遊び 10:10～朝の会 10:30～小集団活動(運動、感覚遊び、認知課題、音楽リズム、制作、集団遊び等) 11:10～体育館や戸外活動、散歩等 11:45～給食準備、身辺処理 12:00～給食 13:00～休息、(年長児は自立課題等)、自由遊び 14:30～身辺処理(排泄、着替え、手洗い) 順次降園 延長支援～ 15:00～おやつ 15:30～帰りの会 自由遊び 個別指導・面談 17:00 延長支援終了
14	就学までに備える力として意識して支援している内容	座って話が聞けるように、指導員に注目できるよう工夫しています。 説明を聞き、指導員の手本をよく見て運動遊びを楽しみます。 製作活動では出来上がりを喜ぶだけではなく、その過程のひとつひとつに個別に課題を設定し、無理なく楽しみながら手指の巧緻性を高めています。	・基本的生活習慣面の自立へ向けた支援 ・発信する力(人に助けを求めたり、依頼や要求等)を伸ばし表現を増やすこと ・自己肯定感を実感できるようにする ・自分の体を知り使いこなせるようにする(ボディイメージ) ・色々な体験を行う機会をつくり様々なものに興味関心が持てるようにする
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	・文字の理解ができない子には色で物の置き場等示しています。 ・コップや連絡帳等は動線を考えた上で置く場所を決めています。 ・スケジュールは大きなホワイトボードにイラストを添えて提示しています。	・朝の支度の弁別や環境は絵カードの手がかりを活用。 ・今日の活動内容は絵カードや文字で何を行なうのか見通しを持たせて提示している。 ・個別指導等はついたて等を用いて、別の部屋で刺激を減らし注意集中できる環境を整えている。
16	保育園等を併用している児童の人数	10人(90.9%)	19名
17	保育園等との具体的な連携内容	・担当者会議への参加 ・電話にて支援の方向性を確認しています。 ・園での困り感を療育に反映し減らしていけるようにしています。	所属園(幼稚園等)に直接訪問(年2回以上)し、児童の状況を確認し集団での課題等を把握して情報共有を行い、対象児の支援の方向性や双方での役割を確認する。個別支援計画を再検討し、児童発達支援に反映させいく。
18	利用相談窓口担当者氏名	児童発達支援管理責任者 川越 剛	児童発達支援管理者 樽澤道子
19	担当者との連絡がとりやすい時間帯	10:00～17:00	10:00～17:00

【中央部】

【中央部】

No.	種類	児童発達支援	児童発達支援
1	事業所名	⑬クラスルームなないろ	⑭ハッピールームくるみ
2	住所	青森市浦町奥野289-1	青森市新町2丁目6-13 ポレスター新町プレミアムステージ1F
3	電話	752-0307	017-752-1445
4	FAX	752-0308	017-752-7034
5	利用日・時間	月曜日～金曜日 なないろキッズ① 9:30-11:15 なないろキッズ② 13:00-14:45	月～土(祝日含む)9:30～13:00
6	定員	放デイと多機能で 10名	10名
7	空き状況(R8.3.1現在)	あり	あり
8	スタッフの人数	児発管1名 児童指導員4名	管理者兼保育士1名、児童発達支援管理責任者1名、保育士3名
9	車椅子を使用している児童の受入の可否	なし	否
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	なし	あり
12	単独通所支援又は親子通所支援	単独通所 (お子さんの年齢によっては親子通所も可)	単独通所支援
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	個別のスケジュールに応じて個別学習、あそび等の活動を組んでいます。	・朝の会 ・遊び ・小集団活動 ・専門的支援 ・集団活動 ・帰りの会
14	就学までに備える力として意識して支援している内容	・終了概念 ・自立的な活動間の移動 ・コミュニケーションの要求・拒否 ・スケジュールの使用 ・視覚的ツールへの注目 ・自己肯定感を育てる ・コーピングスキル ・柔軟性 ★その他個々の発達レベルに応じて必要なこと。	○基本的な生活習慣の獲得:着替えや手洗い、トイレ、食事などを自分でできることを増やせるよう支援します。 ○粗大・微細運動の向上:身体全体の運動や手先の操作を通して運動能力を高められるよう支援します。 ○集中力の向上:興味のある遊びや活動に取り組みながら、少しずつ集中できる時間を延ばせるよう支援します。 ○コミュニケーションスキル:挨拶や順番を守ること、自分の気持ちや考えを言葉やジェスチャーで表現できるように支援します。 ○概念形成の育成:色や形、数、大きさ、分類などを理解し、物事の関係や順序の基礎を学べるよう支援します。
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	・TEACCHの介入方略 ・ESDMを取り入れた早期介入 ・PECS ・CARE	スケジュールの提示
16	保育園等を併用している児童の人数	9名	9名
17	保育園等との具体的な連携内容	保育所等訪問支援による訪問支援	年2回～状況に応じて、保育園等を訪問し、利用状況や支援内容について情報共有を行います。
18	利用相談窓口担当者氏名	米澤・田邊	管理者 吉田司
19	担当者との連絡がとりやすい時間帯	9:30-18:30	9時～17時

【中央部】

【西部・北部】

No.	種類	児童発達支援	児童発達支援
1	事業所名	⑮児童発達支援・放課後等デイサービスゆい	⑯青森県立あすなろ療育福祉センター
2	住所	青森市堤町二丁目5-13	青森市大字石江字江渡101
3	電話	017-753-1150	781-0174(内線41)
4	FAX	017-753-1150	766-4396
5	利用日・時間	平日・10:00～17:00	月～金(祝日、年末年始を除く) 8:45～13:30 ※年長児母子分離保育は14:30まで
6	定員	10人	放課後等デイサービスと合わせて10名/日
7	空き状況(R8.3.1現在)	都度相談になります	あり
8	スタッフの人数	5人	管理者1名、児童発達支援管理責任者1名、児童指導員(保育士)1名、保育士4名、看護師2名(内1名は兼務)、医師2名、OT1名(管理者、医師、OTは兼務)
9	車椅子を使用している児童の受入の可否	否	可
10	医療的ケアが必要な児童の受入	人工呼吸器:不可能 気管切開:不可能 吸引:不可能 経管栄養:不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 可能 ・吸引 可能 ・経管栄養 可能 ・その他(導尿、胃ろう)
11	送迎の有無	有	無
12	単独通所支援又は親子通所支援	親子通所支援	親子通所支援 (年長で要件を満たす児童については、週1回単独通所支援)
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	到着時、検温・排泄・自由あそび/10:00～11:00 個別・集団療育/11:30送迎	登園→検温→自由遊び→朝の会・設定保育→昼食→帰りの会(母子分離)→降園 年長の母子分離実施児童は午後に個別活動を実施する。
14	就学までに備える力として意識して支援している内容		保護者以外の人とかかわりや介助を受け入れられること。 集団の中でルールや順番を守ることができること。 自分でがんばる気持ちを育てること。
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。		重症心身障がい、若しくは肢体不自由の児童を対象とし、発達障害の受入れは無し
16	保育園等を併用している児童の人数	2名	4名
17	保育園等との具体的な連携内容		事業所見学の受け入れ
18	利用相談窓口担当者氏名	古屋敷 藍	工藤
19	担当者と連絡がとりやすい時間帯		9:30～16:45

【西部・北部】

【西部・北部】

No.	種類	児童発達支援	児童発達支援
1	事業所名	⑰児童デイサービスあおねっと新青森	⑱サクラサくいしえ
2	住所	青森市石江5丁目4-2 フラシオン103号・105号・106号	青森市大字石江字江渡83-7
3	電話	757-8106	718-8480
4	FAX	757-8107	718-8490
5	利用日・時間	月～金 9:00～17:00 ※木・金曜日、お昼ごろまでに保育園へ送迎	月曜日～金曜日 9:00～17:00
6	定員	10名/1日(放課後等デイサービス合わせて)	10名/1日(放課後等デイサービス合わせて)
7	空き状況(R8.3.1現在)	なし	曜日による 応相談
8	スタッフの人数	・所長1名 ・児童発達支援管理責任者1名 ・保育士3名 ・児童指導員4名	管理者1名、児童発達支援管理責任者1名、看護師4名、 看護師(パート社員)1名、保育士2名
9	車椅子を使用している児童の受入の可否	可	可
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 要相談	・人工呼吸器 可能 ・気管切開 可能 ・吸引 可能 ・経管栄養 可能 ※その他導尿可能、都度応相談
11	送迎の有無	有(車輛や人員配置が困難な場合は、要相談)	医ケア区分有り→送迎なし 医ケア区分無し→西部地区
12	単独通所支援又は親子通所支援	単独通所支援	単独通所支援
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	個別課題、生活支援、集団活動(遊び、行事、製作活動含む) リトミック活動	①来所 ②バイタルチェック ③集団活動(体調に合わせて) ④昼食(栄養摂取) ⑤リラックスタイム、個別療育等(体調に合わせて) ⑥おやつ、水分補給タイム ⑦帰宅 ※オムツ交換、更衣は適宜
14	就学までに備える力として意識して支援している内容	・集団に慣れる(集団で活動すること) ・座って活動に取り組めるようになること ・生活支援全般	・自宅以外の場所での親子分離に少しずつ慣れる。場所にも慣れる ・家族以外の人からの医療的ケアを受け入れ、看護師に慣れる ・保育士とのふれ合い遊びや五感を刺激する遊びを経験する
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	・スケジュール、絵カードでの視覚支援 ・色、イラスト、文字、写真、パーテーション、ブース机等室内環境整備 ・コミュニケーションツールでの意思表示支援	・医療的ケアが安全に出来るよう、その日の利用者様に合わせた配置や使用する部屋の選択等を職員間で話し合い設定する ・自宅以外の場所でも安心して過ごせるよう、音や人の出入りに配慮した環境づくり ・利用者様の体調や障害の様子に合わせて無理なく個別療育を行う
16	保育園等を併用している児童の人数	2名	医ケア区分有3名、区分無し4名
17	保育園等との具体的な連携内容	・保育園の活動の様子等の情報確認と共有	・電話や面談をし、利用者様の医療的ケア等の対応を話し合い情報共有しながら支援していく
18	利用相談窓口担当者氏名	前田	児童発達支援管理責任者 山崎
19	担当者と連絡がとりやすい時間帯	9:00～17:00	10:00～12:00、13:00～17:00

【西部・北部】

【西部・北部】

No.	種類	児童発達支援	児童発達支援
1	事業所名	⑱こどもプラス青森西教室	⑳アトリエさくら
2	住所	青森市安田近野87-2	青森市浪館字志田38-6
3	電話	763-5866	017-753-1121
4	FAX	763-5867	017-772-0013
5	利用日・時間	月～土 10:00～12:00 日、祝日は休み、8/13～15、12/29～1/3休み	月～金 9:00～18:00 サービス提供時間 10:00～11:30
6	定員	10名(放課後等デイサービスと合算)	6～7名
7	空き状況(R8.3.1現在)	無	なし
8	スタッフの人数	保育士4名 管理者兼児童発達支援管理責任者1名	管理者兼児童発達支援管理責任者 1名 看護師兼児童発達支援管理責任者 1名 作業療法士兼児童発達支援管理責任者 1名 作業療法士 1名 言語聴覚士 1名 保育士 4名
9	車椅子を使用している児童の受入の可否	不可	不可
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 可能 ・吸引 可能 ・経管栄養 可能 ・その他 坐薬
11	送迎の有無	無	有
12	単独通所支援又は親子通所支援	単独通所支援	単独通所
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	1.朝の会 2.運動療育プログラム(運動遊び) 3.静かな活動(絵本の読み聞かせ、フラッシュカード) 4.個別課題、製作活動	10:00 順次到着(送迎)手洗い、自由遊び 10:05 朝の会 10:10～11:20個別療育・あそび (個別スケジュールに沿ってお勉強・あそび) 11:25 おわりの会
14	就学までに備える力として意識して支援している内容	座って話が聞けるように、指導員に注目できるよう工夫しています。 説明を聞き、指導員の手本をよく見て運動遊びを楽しみます。 製作活動では出来上がりを喜ぶだけでなく、その過程のひとつひとつに個別に課題を設定し、無理なく楽しみながら手指の巧緻性を高めています。	大人、他児を頼り、おねがい、ありがとうを伝えることができる。物事に集中するには、どんな構造化が必要かを知ることができる。 世の中うまくいかない、思い通りにならないこともあると納得する、折り合いをつけることができる。
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援…スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	・文字の理解ができないお子様には園で使っているマークで置き場等、示しています。 ・コップや連絡帳等は動線を考えた上で置く場所を決めています。 ・スケジュールは大きなホワイトボードにイラストを添えて提示しています。	スケジュール パーティーションでエリア分け(おもちゃ、運動、勉強) 視覚支援 指導員と1対1での関わり 休憩エリア、センサーエリアの配置 怒らない
16	保育園等を併用している児童の人数	14人(100%)	13名
17	保育園等との具体的な連携内容	・担当者会議への参加 ・必要があれば電話にて支援の方向性を確認しています。 ・園での困り感を療育に反映し減らしていけるようにしています。 ・保護者様の希望により保育所等訪問を利用できます。	・利用開始前やモニタリング時期等必要に応じて保育園等へ訪問、電話等でご本人の様子を聞いている。送迎時には変わった様子などがあった場合を含め事業所での様子をお伝えしている。
18	利用相談窓口担当者氏名	児童発達支援管理責任者 川越 真紀子	小笠原 郁子
19	担当者との連絡がとりやすい時間帯	10:00～17:00	9:00～18:00

【西部・北部】

【西部・北部】

No.	種類	児童発達支援	児童発達支援
1	事業所名	㊲レスパイトハウスKOKO	㊲エジソンキッズ青森西
2	住所	青森市大字三内字稲元109番地39	青森市新城字山田436-2
3	電話	752-6906	764-0181
4	FAX	718-5539	764-0182
5	利用日・時間	利用日:月～金曜日 開所時間:9:00～17:00 サービス提供時間:午前9:30～12:00 午後13:00～15:00 全日9:30～15:00	月～金 9:00～17:00(主に9:00～13:00)
6	定員	10名	放課後等デイサービスとあわせて10名
7	空き状況(R8.3.1現在)	あり	あり
8	スタッフの人数	管理者 1名 児童発達支援管理責任者 1名 社会福祉士 1名 保育士 1名 介護福祉士 1名	7名 管理者・児童発達支援管理責任者・保育士・児童指導員・他
9	車椅子を使用している児童の受入の可否	不可	不可
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	有	有(範囲は要相談)
12	単独通所支援又は親子通所支援	単独通所支援	親子・単独通所支援
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	登所(身の回りの片付け、検温)、手洗い、うがい、排せつ→朝の会、健康観察、おやつ(10:30頃又は14:00頃)→個別、自立、課題(創作活動含む)→余暇→個別、自立、活動(レクリエーション含む)→排せつ(個別)→昼食、歯磨き指導→余暇→排せつ→マッサージ→お昼寝・リラックスタイム→(寝ていない場合)課題又はおやつ→余暇又は課題→排せつ→帰りの会→降所	9:00～10:00 順番に保育園にお迎え 10:00～11:30 導入、1日の流れを伝える。挨拶、運動機能、お片付け、言葉、排泄等。子どもの選択する遊びの中から個々のテーマを意識しつつ、集団活動。晴天時は、裏の公園での鬼ごっこや虫探し、畑づくり。雨の日は、施設内ホールでのサッカー、ビジョントレーニング体操、落ち着いたら部屋で折り紙、お絵かき等 11:00～11:30 昼食 11:30～11:50 絵本、クイズ、チャンバラ等 11:50～ お片付け、帰り支度後、各保育園に送る
14	就学までに備える力として意識して支援している内容	・基本的生活習慣(食事・排せつ・着脱)確立(目と手の協応、微細等) ・人間関係、社会性(小集団で過ごす、自分の順番やルールを知り・守る、マナー等) ・コミュニケーション(理解・表出)	★★★みんなと仲良くする力★★★ 就学後に6年生の大きい子にもびっくりしないよう、定期的に放課後等デイの大きい子達と異年齢交流をして、人を信頼する心と、自分の意思を言う力、相手と調和する力などのソーシャルスキルを育む支援を重要視している。
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援…スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	・スケジュールはイラスト、文字、写真等を活用し個別に設定。 ・コミュニケーションでは視覚的に絵カードと言葉を添えながら言語表出に繋がれるようにしている。チョイスボードを活用し職員と要求のやり取りを覚えていく。 ・部屋はパーティション仕切りを活用し活動内容を分けて行い、課題設定の仕方も個別に対応。	絵カードやタイマー、安静室などの環境整備と、子どもの話によく耳を傾け、気持ちを聴き、その日の構造化を柔軟に行っている。
16	保育園等を併用している児童の人数	保育園 9名	2名
17	保育園等との具体的な連携内容	・保護者様からの情報提供 ・送迎時、担任の先生との情報交換	保育園の行事に参加したり、お互いに訪問や情報交換を行い、連携して療育できるよう、情報共有している。
18	利用相談窓口担当者氏名	進藤 真木子	内山 秀貴
19	担当者と連絡がとりやすい時間帯	10:00～15:00	10:00～12:00、13:00～17:00

【西部・北部】

【南部】

No.	種類	児童発達支援	児童発達支援
1	事業所名	㉓児童発達支援ぱぷりか	㉔児童デイサービスあおねっと青森南
2	住所	青森市富田3-16-50	青森市大字大矢沢字里見92-1
3	電話	782-1666	757-9165
4	FAX	782-1679	757-9166
5	利用日・時間	平日、休校日 9:00～12:00	火・水・木 9:00～12:00
6	定員	児童発達支援 1日あたり10名	放課後等デイサービスと合わせて 10名
7	空き状況(R8.3.1現在)	なし	5名
8	スタッフの人数	管理者・児童発達支援管理責任者・保育士・児童指導員 他7名	所長1名 児童発達支援管理責任者1名 保育士4名 指導員1名
9	車椅子を使用している児童の受入の可否	不可	可
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	有	有 (自宅の他、こども園等 昼食、お昼寝の時間前までに送迎している)
12	単独通所支援又は親子通所支援	単独通所支援	単独通所
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	9:00 来所・体調管理 9:15 始まりの会 9:30 ソーシャルスキルトレーニング (個別支援カリキュラムに基づく) 11:50 帰りの会	個別・集団・生活支援(季節ごとの行事含む)
14	就学までに備える力として意識して支援している内容	日常生活の基本動作の指導、知識・技能の付与、集団生活への適応訓練等を継続的に支援します。	・コミュニケーションツール等を使用することで、始まりと終わりを知ること。 ・思いを伝え、できることを増やし自信をもって課題や活動に取り組めるようになること。 ・ご家族以外の人からの援助を受けられるようになること。
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	パーティションで仕切ったり、スケジュールなどの視覚支援を行っています。	活動内容に応じたパーテーションの設置と、視覚的支援(スケジュール、コミュニケーションツールを使用した絵カードでの支援)
16	保育園等を併用している児童の人数	5名	0名
17	保育園等との具体的な連携内容	送迎時にその日の様子の情報交換	・こども園等の活動や行事等の状況の情報共有と手順書の提供、生活場面課題の共有
18	利用相談窓口担当者氏名	澤谷 裕子	佐々木 尚美・神 麻衣
19	担当者と連絡がとりやすい時間帯	平日 10:00～13:30	9:00～17:00

【南部】

【南部】

No.	種類	児童発達支援	児童発達支援
1	事業所名	㊤キッズサポートあるふあ	㊤こどもサポート教室「クラ・ゼミ」 青森桜川校
2	住所	青森市桜川9丁目11-6	青森市桜川6丁目14-10
3	電話	752-0562	718-3395
4	FAX	718-3211	718-3395
5	利用日・時間	月～金 9:00～13:30、15:30～17:15	月～土(祝日あり) 10時～19時
6	定員	12名	放課後デイサービスと合わせて10名
7	空き状況(R8.3.1現在)	曜日によっては対応可。(午前クラス・午後クラスとも)	時間と曜日を相談
8	スタッフの人数	管理者(兼務) 1名 児童発達支援管理責任者 1名 児童指導員 2名 保育士 4名 事務員 1名	7名
9	車椅子を使用している児童の受入の可否	不可	不可
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	有	無
12	単独通所支援又は親子通所支援	単独通所	親子・単独通所支援
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	こどもの課題に合わせた個別支援 イベント等による集団活動	個別支援 1時間 (例)挨拶→始まりの会(小集団)→各ブースにて(個別)課題→挨拶→フィードバック
14	就学までに備える力として意識して支援している内容	「気づく・わかる・できる」 「気づく」めの環境的配慮から、自然にあるものを探し、確認する力。 お子さんの得意な指示理解の方法を用いた「わかる」の保障。 やれば「できる」前向き・意欲的な姿勢の習得。	個々の発達の状態に合わせ、主体性を重んじ、意欲と自信を育みます。
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	いつ・どこで・何を・どのくらい・どのようなやり方で・どうしたら終わるのかを個別にわかりやすく提示しています。 「ここで何をやるの？」をわかりやすくするために、活動ごとのエリアを設定しています。 「わかりやすい指示」を確認し、わかることを保障しています。 ※主にASDやADHDの診断があるお子さんが利用しています。	スケジュールの提示
16	保育園等を併用している児童の人数	38名	14名
17	保育園等との具体的な連携内容	巡回支援等で、利用前の状況等を把握し、「集団場面」での課題を確認。 利用開始後も巡回指導や同一法人の「保育所等訪問支援」と連携し、課題を共有。 (「保育所等」や「家庭」での成果を確認し、通所支援の微調整を行っている。)	保護者様の要望により情報交換等を行っています。
18	利用相談窓口担当者氏名	熊澤 奏恵	三田
19	担当者との連絡がとりやすい時間帯	9:15～17:00	10:00～19:00

【南部】

【南部】

No.	種類	児童発達支援	児童発達支援
1	事業所名	㉗Eat-in by きらら	㉘放課後等デイサービス きらら筒井
2	住所	青森市浜田2丁目15-16	青森市筒井4丁目1-26
3	電話	017-763-5570	764-0900
4	FAX	017-763-5576	764-0901
5	利用日・時間	月曜日～金曜日(祝日、第3土曜日は営業)10:00～12:30 土曜日、日曜日は休業	月曜日～金曜日(第1土曜日、祝日は営業)10:00～12:30 土曜日、日曜日は休業
6	定員	放課後等デイサービスと合わせて10名	放課後等デイサービスと合わせて10名
7	空き状況(R8.3.1現在)	無	応相談
8	スタッフの人数	管理者兼児発管1名 保育士2名 児童指導員2名	管理者兼児発管1名 保育士1名 児童指導員3名
9	車椅子を使用している児童の受入の可否	無	現在は受け入れ無し
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能 ・その他(あれば記載)	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	無	無
12	単独通所支援又は親子通所支援	単独通所支援	単独通所支援
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	個別学習・運動。遊び(感覚統合を取り入れたもの) 自立課題・レクリエーション・振り返り	個別学習・運動(粗大・微細・感覚統合を取り入れたもの) 自立課題・レクリエーション・振り返り
14	就学までに備える力として意識して支援している内容	特性の理解と状況に合わせた対応 TEACCH法などで子どもの実態やニーズに応じた実践 自己肯定感を高める支援	特性の理解と状況に合わせた対応 TEACCH法などで子どもの実態やニーズに応じた実践 自己肯定感を高める支援
15	発達障害の児童に対する構造化支援 (※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の 配置等をわかりやすく提示すること。	スケジュールの構造化(絵・写真)・視覚構造化(写真と実物の 対応)・SSTカードを場面に応じ使用(社会性を養う)	スケジュールの構造化(絵・写真)・視覚構造化(写真と実物の 対応)・SSTカードの使用(場面に応じて)
16	保育園等を併用している児童の人数	0名	無
17	保育園等との具体的な連携内容	保護者に同意を得た上で情報交換 緊急連絡体制の確認	送迎時に保護者より当日の様子について何う 要望に応じ保育園等の支援会議の出席
18	利用相談窓口担当者氏名	児童発達管理責任者 遠山 裕一	管理者兼児発管 倉内 恵里子
19	担当者と連絡がとりやすい時間帯	管理者兼児発管 遠山 裕一 9:00～17:00	9:30～17:00

【南部】

【南部】

No.	種類	児童発達支援	児童発達支援
1	事業所名	㊹児童支援事業所 Neo	㊺児童支援事業所 ハピネス(㊹従たる事業所)
2	住所	青森市浜館4丁目11-9	青森市大字浜館字見取26-12
3	電話	017-752-1933	017-718-5785
4	FAX	017-752-1934	017-718-5786
5	利用日・時間	月～金 10:00～16:30 16歳～18歳の未就学児	月曜日～金曜日 9:45～11:30
6	定員	3名	10名
7	空き状況(R8.3.1現在)	無	なし
8	スタッフの人数	管理者兼児発管1名 他5名	管理者兼児発管1名 他5名
9	車椅子を使用している児童の受入の可否	要相談(段差等があるため)	要相談
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	有(ただし送迎範囲の指定あり)	有
12	単独通所支援又は親子通所支援	単独通所支援	単独通所支援
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	10:00～来所後、決められた時間割に沿って活動します。 ※昼食は持参または注文可 ※おやつ提供あり	お子さんの理解に合わせたスケジュールに沿って、個別支援や小集団活動を実施しています。
14	就学までに備える力として意識して支援している内容	基本的な生活習慣の他に自己理解や家庭作業、道具の操作、他者に相談するスキルの向上を図ります。	・成功体験を積み上げ、自己肯定感を育てる ・コミュニケーションスキル(援助要求・拒否など) ・自分でわかり自分でできる
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	・お子さんの理解に合わせスケジュールを作成 ・どこで何をやるかがわかりやすいように部屋の配置を提示している。	いつ、どこで、なにをするのかがわかるよう、構造化支援を実施。
16	保育園等を併用している児童の人数	現在、利用児がいない	6名中6名
17	保育園等との具体的な連携内容	必要に応じて状況確認や情報共有を行います。	訪問や必要に応じて会議を実施し、事業所や園での様子・状況について確認している。
18	利用相談窓口担当者氏名	鹿内 さやか	管理者 鹿内 さやか
19	担当者と連絡がとりやすい時間帯	9:00～17:00	9:00～17:30

【南部】

【南部】

No.	種類	児童発達支援	児童発達支援
1	事業所名	③Eat in by きらら虹ヶ丘	③児童発達支援・放課後等デイサービスななき
2	住所	青森市虹ヶ丘1丁目14-14	青森市桂木3丁目18-2
3	電話	017-762-0037	017-718-5735
4	FAX	017-762-0096	017-718-5736
5	利用日・時間	月～金(第4土曜)営業日 10:00～12:30	月から金 9:00-13:00
6	定員	(放デイと合わせて)1日:10名	10名
7	空き状況(R8.3.1現在)	無	なし
8	スタッフの人数	5名	10名
9	車椅子を使用している児童の受入の可否	不可	可能
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 可能 ・気管切開 可能 ・吸引 可能 ・経管栄養 可能
11	送迎の有無	有	あり(要相談)
12	単独通所支援又は親子通所支援	単独通所支援	可能
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	登所→手洗いうがい→身辺整理→課題→余暇→降所	朝の会→集団活動→おやつ→個別活動→帰りの会
14	就学までに備える力として意識して支援している内容	・名前が正しく書ける様支援 ・身辺の整理、身支度の整いが自立出来る支援 ・イスに座る際の正しい姿勢、えんぴつの持ち方を支援	・排泄 ・先生のお話を聞いてから動くこと ・自分の気持ちを相手に伝えること
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	イラストや写真、文字等個別に合わせた表記(スケジュールや変更事項、指示など)	
16	保育園等を併用している児童の人数	0名	6名
17	保育園等との具体的な連携内容	現時点ではいない為、連携はない	・送迎 ・情報共有 ・支援内容
18	利用相談窓口担当者氏名	附田 瑞穂	管理者 大垣 美貴子
19	担当者と連絡がとりやすい時間帯	10:00～17:00	9:00-18:00

【南部】

【南部】

No.	種類	児童発達支援	児童発達支援
1	事業所名	㊸サポートてらす	㊸toitoitoi
2	住所	青森市西大野5丁目1-1	青森市西大野3丁目11-6
3	電話	017-752-1151	718-8545
4	FAX	017-752-1153	718-0321
5	利用日・時間	営業日 月曜から土曜(祝日、年末年始は除く) 開所時間9時から17時	月～金(祝日除く) 午前/9:00～12:00 午後/13:00～17:00
6	定員	10名	10名
7	空き状況(R8.3.1現在)	各曜日1～2名程度	無
8	スタッフの人数	児発管兼管理者1名 保育士5名 作業療法士1名	5名
9	車椅子を使用している児童の受入の可否	可能ではあるが利便性はよくない	不可 (室内で車椅子を使用せずに過ごせるようであれば対応可能)
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	有	有(園と事業所間のみ)
12	単独通所支援又は親子通所支援	可能	単独通所支援
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	各自通所してから個別の課題に取り組み小集団の活動を行う。 希望する児には提携している保育園からの給食を提供することも可能 午睡や午後から利用するなど様々なケースがあるため利用児に合わせてプログラムを行う。	個別活動(1対1)、小集団活動(2～3対1)、グループ活動(6～7対1)を組み合わせながら、個々が目指す目標に向かって過ごします。将来的な学習を意識したもの、指先の発達を促すもの、発語やコミュニケーション能力を育むものを中心としながら個別対応を行っています。またすべてのお子様に対し、身体を整えるためのマッサージやエクササイズを利用時間内に提供し、ストレスなく学べる身体づくりを目指します。
14	就学までに備える力として意識して支援している内容	就学時に必要される言語的理解や意思疎通などができるようにしています。 また見通しを持ち時間の概念を理解をもとに座学の継続時間を練習したりとしています。 運筆や巧緻性の求められる活動なども取り入れています。	持ち物の準備や片付けの仕方、学習に使う道具の扱い方、教科書やノートの使い方をスモールステップで体験していきます。また、困った時のヘルプ方法、気持ちのコントロールの仕方なども随時知らせていくことで、就学後に困らないように対応していきます。
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	家庭や保育園でも般化できるように刺激の統制を行いどの視覚支援で非言語で認識できるのか評価し行っている。視覚支援は本人のわかる物を利用し誘導を行う、また時間の概念の認識ができるように配慮し提示し明示している。個別の療育時にはパーティションや仕切りを使うなど行う。	自分の持ち物を置く場所に顔写真と名前を表示、やるべきことの順序を写真で提示、時間を視覚で理解するためのタイマー時計の使用、片付ける場所を写真で表示、身の回りの物に平仮名で名前表示。
16	保育園等を併用している児童の人数	3月 3名 4月 7名	10名
17	保育園等との具体的な連携内容	保育園への情報提供など行っている。 できたことや視覚支援などの刺激との統制を行う為、どの支援がうまくできたなど	-
18	利用相談窓口担当者氏名		樫沢 香澄
19	担当者との連絡がとりやすい時間帯	9時～17時	8:30～9:30/16:00～17:00

【南部】

【南部】

No.	種類	児童発達支援	児童発達支援
1	事業所名	㊼toi toi toi 2nd	㊼すくすくハッピーランド
2	住所	青森市西大野3丁目3-19	青森市大野字若宮57
3	電話	017-718-0271	017-718-3526
4	FAX	017-718-0321	017-718-3527
5	利用日・時間	平日(9:00～12:00、13:00～17:00)	営業日:月～金(祝日・お盆・年末年始は除く) 営業時間:9:00～18:00 サービス提供時間:9:50～11:20
6	定員	10名	放課後等デイサービスと合わせて10名
7	空き状況(R8.3.1現在)	なし	空き有り 利用曜日は要相談
8	スタッフの人数	5名	管理者兼児童発達支援管理責任者1名 保育士4名
9	車椅子を使用している児童の受入の可否	無	要相談
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	場所、時間によって可	有
12	単独通所支援又は親子通所支援	単独通所支援	単独通所支援
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	個別支援、少人数グループ、小集団による支援 午後はおやつがあります	日課 はじまりの会 小集団活動 個別療育・課題 自由遊び
14	就学までに備える力として意識して支援している内容	MBL(BBAs)をベースに社会性を育む支援を重点的に行っています。 その他個別に言葉、平仮名、数字など苦手分野を個別支援します。	基本的な日常生活習慣の向上 コミュニケーションスキル 個々に合わせた課題設定 健康な体と心づくり
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	色とひらがなでの掲示。 個々の児童に合わせて支援が可能です。	物理的構造化:部屋の家具や使用する道具などの配置を工夫 時間の構造化:文字やイラスト、写真などを使用して予定を示す 活動の構造化:やるべき作業や活動内容を理解するための工夫
16	保育園等を併用している児童の人数	23名	6人
17	保育園等との具体的な連携内容	担任の先生とのミーティングや保育の様子を確認したりなど、園側で可能な場合に連携をしています。	6人
18	利用相談窓口担当者氏名	太田 吏香	渋谷 真代
19	担当者と連絡がとりやすい時間帯	平日9:00～17:00	10:00～17:00

【南部】

【東部】

No.	種類	児童発達支援	児童発達支援
1	事業所名	㊿こどもサポート教室「クラ・ゼミ」青森桂木校	㊿エジソンキッズ青森東
2	住所	青森県青森市桂木3丁目20番地5	青森市造道3-4-15 1F
3	電話	017-718-2203	764-0260
4	FAX	017-718-2203	764-0261
5	利用日・時間	月曜日～土曜日(祝日) 9時～18時	月～金 9:00～17:00 (12/31～1/3を除く)
6	定員	放課後等デイサービスと合わせて10名	放課後等デイサービスと合わせて10名
7	空き状況(R8.3.1現在)	空きあり(個別・小集団共に時間と曜日要相談)	あり
8	スタッフの人数	児童発達支援管理責任者1名、指導員5名	6名
9	車椅子を使用している児童の受入の可否	不可(要相談)	可(要相談)
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	無	有(範囲は要相談)
12	単独通所支援又は親子通所支援	親子通所支援	親子・単独通所支援
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	個別支援 1時間 (例)挨拶→始まりの会(小集団)→各ブースにて課題(個別)→挨拶→保護者様へフィードバック 小集団支援 1時間45分 (例)挨拶→始まりの会→課題3～5個程度→挨拶→保護者様へフィードバック	9:00～10:00 順番に保育園にお迎え 10:00～11:00導入、1日の流れを伝える。挨拶、運動機能、お片付け、言葉、排泄等。子どもの選択する遊びの中から個々のテーマを意識しつつ集団活動。ビジョントレーニングを軸として、晴天時は近所の公園での鬼ごっこや虫探し、球技など。雨の日は施設内の活動部屋で球技などの運動遊び、折り紙、お絵かき等。 11:00～11:30昼食 11:30～11:50絵本、クイズ、チャンバラ、遊び等 11:50～お片付け、帰り支度後各保育園に送る。
14	就学までに備える力として意識して支援している内容	個々の発達の状態に合わせ、主体性を重んじ、意欲と自信を育みます。	就学後、6年生の大きい子にもびっくりしないよう、定期的に放課後等デイの大きい子たちと異年齢交流をして、人を信頼する心と、相手と調和する力などのコミュニケーション能力を育む支援を重要視している。障害や個々の発達に合わせた支援、交流を行う。話をよく聞いて、その子の選択を重視する。
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	・スケジュールを提示しています(写真やイラストなど、お子様が理解できるものの提示) ・各ブースをパーテーションで区切っています	絵カードやタイマー、安静室などの環境整備と子供の話によく耳を傾けて気持ちを聴き取り、その日の構造化を柔軟に行っている。
16	保育園等を併用している児童の人数	12名	2名
17	保育園等との具体的な連携内容	保護者様の要望により情報交換等を行っています	お互いに訪問や情報交換を行い、連携して療育できるよう情報共有している。
18	利用相談窓口担当者氏名	櫻庭 愛子	内山 秀貴
19	担当者と連絡がとりやすい時間帯	9時～18時 (InstagramやLINEでのメッセージでもご連絡を受け付けています)	10:00～12:00、13:00～14:00

【東部】

【浪岡地区】

No.	種類	児童発達支援	児童発達支援
1	事業所名	㊸児童発達支援センターやまぶき園	㊹独立行政法人国立病院機構 青森病院 多機能型通所支援事業 あお空
2	住所	青森市雲谷字山吹92-285	青森市浪岡大字女鹿沢字平野155-1
3	電話	738-5564	0172-62-4055(内線5501)
4	FAX	738-6411	0172-62-7289
5	利用日・時間	月～土 9時～16時30分	月～金 8:30～16:30
6	定員	20名	5名(放課後等デイサービス、生活介護含む)
7	空き状況(R8.3.1現在)	10名～15名	曜日によって空きあり
8	スタッフの人数	8名	4名
9	車椅子を使用している児童の受入の可否	不可	可
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 可能 ・吸引 可能 ・経管栄養 可能 ※人工呼吸器に関しては不可能にしていますが、一度ご相談ください。
11	送迎の有無	有	無(他サービスとの組み合わせで利用可能です)
12	単独通所支援又は親子通所支援	親子・単独通所支援	単独通所支援
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	集団指導:課題活動(身辺自立、運動、社会性、表現など、 児童発達支援ガイドラインの項目などを参考にプログラムを 作成)、食育指導、家族支援 個別指導::1対1のかかわりの中で言語、認知、社会性等、 発達を促すための支援を行っている。	健康チェック、日中活動、昼食、日中活動、おやつ (入浴は希望者のみ、曜日によって時間帯が違う)
14	就学までに備える力として意識して支援している内容	課題に取り組む姿勢と集中持続時間の向上 コミュニケーション手段の獲得 身辺の自立 など	本人の様子に合わせて発達を促せるよう日中活動や行事を提供しています。
15	発達障害の児童に対する構造化支援 (※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の 配置等をわかりやすく提示すること。	絵カードや写真を使いことばでの指示だけではなく、視覚情報も取り入れ、子どもがわかりやすい方法を取り入れています。	発達障害の受け入れは通園「あお空」では行っていませんが、小児科外来にて学習支援やキッズのアンガーマネジメント等実施しています。
16	保育園等を併用している児童の人数	35名	なし
17	保育園等との具体的な連携内容	保護者から要望があったときなど、併用している園を互いに訪問し、情報交換等を行っています。	なし
18	利用相談窓口担当者氏名	鳥山、奈良	安田 圭吾
19	担当者との連絡がとりやすい時間帯	8時30分～16時30分	月～金 8:30～17:00

【浪岡地区】

【浪岡地区】

No.	種類	児童発達支援	児童発達支援
1	事業所名	㊦ここふくプラス	㊦フルーツポンチ
2	住所	青森市浪岡大字銀字前田4番地2	青森市浪岡大字浪岡字平野201-4
3	電話	0172-62-6823	0172-88-7930
4	FAX	0172-62-7489	0172-88-7931
5	利用日・時間	9:00～18:00	月～金・9:00～18:00
6	定員	10名(多機能型)	10人
7	空き状況(R8.3.1現在)	あり	空きあり
8	スタッフの人数	5名	管理者1 児発管1 支援員4
9	車椅子を使用している児童の受入の可否	要相談	不可
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	有	有
12	単独通所支援又は親子通所支援	単独通所支援	単独通所支援
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	保育園への迎え 個別活動:個室を使用して職員と1対1で課題に取り組む 集団活動:活動前にルールを確認して取り組む 保育園への送り	保育園・家庭へのお迎え 集団活動:ルールを説明し、それに沿って取り組む 個別活動:個室を使用し、職員と1対1で取り組む 自立活動:はじまりからおわりまで一人で取り組む 給食を食べる 身支度をする 保育園・家庭へ送り
14	就学までに備える力として意識して支援している内容	20分程度集中して取り組めるように、個別課題時間を設定。	スケジュールを意識した活動
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援…スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	個人ごとのスケジュール(絵カード)を使用 活動エリアを分かりやすく分ける	一人一人に合わせたスケジュールの可視化 活動エリアを色分けしている
16	保育園等を併用している児童の人数	7名	
17	保育園等との具体的な連携内容	電話連絡 個別支援計画内容の共有	受け入れ時の情報共有をはじめとした定期的な情報共有
18	利用相談窓口担当者氏名	白取 慎子	児童発達支援管理責任者
19	担当者と連絡がとりやすい時間帯	8:30～18:00	9:00～18:00

【中央部】

【中央部】

No.	種類	放課後等デイサービス	放課後等デイサービス
1	事業所名	①放課後等デイサービス まあむ	②レスパイトハウスWA
2	住所	青森市中央1丁目27-5	青森市中央4丁目7-8
3	電話	090-2846-5337	723-1565
4	FAX	735-1501	723-1565
5	利用日・時間	月～金 13:00～17:00 土・学休日 9:00～17:00	登校日 13:30～17:00 休校日 月～土 10:00～15:00
6	定員	10名	10名
7	空き状況(R8.3.1現在)	曜日によって若干名あり	なし
8	スタッフの人数	管理者兼児童発達支援管理責任者 1名 児童指導員 3名 保育士 1名 指導員 1名	管理者1名 児発管1名 事務1名 児童支援員7名(社会福祉士1名 保育士3名)
9	車椅子を使用している児童の受入	不可	不可
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	あり	あり(一部地域、学校によっては出来ないこともあります)
12	主に支援を行っている年齢層	6歳(小1)～15歳(中3)	小学校1年～高校3年生
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	来所 始まりの会 個別課題・集団活動(個別支援計画に沿った活動内容)・宿題 レクリエーション(外出活動・クッキング等) 余暇活動 おやつ(長期休業日は希望により給食の提供有) 送迎	・個別支援計画に合わせたスケジュールでの提示で活動を促している。 登所→手洗い→うがい→課題(自立)→おやつ→歯磨き→余暇→課題(個別)→好きな活動→課題(自立、個別)等 ・文字、文字+写真、イラスト+文字等の視覚支援。 ・季節に応じた創作活動、行事(集団)。 ・余暇スキルの習得(買い物、調理、家事等)
14	療育や活動を行う上で子ども達に配慮していること	個々に合わせた環境設定の整備 特性に応じた、課題や活動の設定 無理のないスモールステップで前進する支援の提供	・他害等に配慮し、事故や怪我につながらないよう安全に過ごすための居住環境等の点検の実施。 ・子供達にとって、楽しく学び、遊べる場所であること。 ・個々のレベルに応じたスキルの向上(スモールステップ) 自発的行動 ・余暇スキルの取り組み ・皮膚・食物アレルギーに関しての事前の聞き取り ・健康観察
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	行っている	・視覚的構造化(写真、文字、イラスト等)を個々に合わせて行っている ・物理的環境の整備、構造化(パーテーションの利用及びクールダウンスペースの設置等で配慮)
16	就労している保護者への配慮	その都度対応している。	・親御さんの就労に対応して延長支援あり ・日中一時支援事業 ・レスパイト事業(無認可)1時間500円
17	学校との具体的な連携内容	・送迎時などを活用し情報情報共有を実施。	・三者面談 ・迎えに行った時学校での様子を教えてもらう ・移行支援会議や担当者支援会議に参加 ・学校見学会 ・施設見学の受け入れ
18	利用相談窓口担当者名	鹿内 信江	児童発達支援管理責任者 宗前靖子
19	利用相談窓口担当者と連絡がとりやすい時間帯	10:00～17:00	10:00～15:00

【中央部】

【中央部】

No.	種類	放課後等デイサービス	放課後等デイサービス
1	事業所名	③ライフサービスあおば デイサービスセンターすこやか	④ライフサポートあおば チャレンジサポートすこやか
2	住所	青森市緑3丁目3-16	青森市松森2丁目11-13
3	電話	762-7570	752-1751
4	FAX	762-7571	752-1951
5	利用日・時間	祝日及び年末年始を除く月曜日から金曜日 授業終了日 下校～17:00 休業日 9:00～15:45	祝日及び年末年始を除く月曜日から金曜日 授業終了日 下校～17:00 休業日 9:00～15:45
6	定員	10名	10名
7	空き状況(R8.3.1現在)	要相談(曜日・時間帯による)	要相談(曜日・時間帯による)
8	スタッフの人数	管理者 1名(兼務) 児童発達支援管理責任者 1名 児童指導員 1名 保育士 3名 心理療法担当 1名	管理者 1名(兼務) 児童発達支援管理責任者 1名 児童指導員 3名(うち1名非常勤) 保育士 3名 労務員 1名(非常勤)
9	車椅子を使用している児童の受入	難しい	難しい
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	自宅:浪岡・浅虫・雲谷を除く青森市内 学校:青森第二養護学校のみ	学校:青森第二養護学校及び第一高等養護学校
12	主に支援を行っている年齢層	小学生(6～12歳) ※チャレンジサポートすこやかへのエスカレート式な移行。	中学生・高校生(12～18歳) ※デイサービスセンターすこやかからのエスカレート式な移行。
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	「気づく・わかる・できる」 ・子ども一人ひとりの発達段階や認知に合わせたプログラム。 ・子どもの必要性に合わせた個別の課題と集団でのイベント参加。 ※季節ごとや長期休みのイベント。 ・おやつ提供あり。	「気づく・わかる・できる」 ・子ども一人ひとりの発達段階や認知に合わせたプログラム。 ・子どもの必要性に合わせた個別の課題と集団でのイベント参加。 ※季節ごとや長期休みのイベント。 ・おやつ提供あり。
14	療育や活動を行う上で子ども達に配慮していること	「やればできる」 自己効力感・自己有用感 子ども一人ひとりの特性と課題に合わせたプログラムの提供。 ※ABA(応用行動分析)やTEACCHIに関連する研修を受講。 ※知的発達症・自閉スペクトラム症・注意欠如多動症の児童が多く利用。	「自分の得意・苦手と向き合う」 自己認知・アイデンティティ 子ども一人ひとりの特性と課題に合わせたプログラムの提供。 ※ABA(応用行動分析)やTEACCHIに関連する研修を受講。 ※知的発達症・自閉スペクトラム症・注意欠如多動症の児童が多く利用。
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	・「いつ・どこで・何を・どのくらい・どのようにして・どうなったら終わる」・個別にわかるように提示。 ・活動ごとにエリアを分けている。(物理的構造化) ・個々にわかりやすい形態での予定や手順の提示。(時間の構造化)・コミュニケーションを視覚的かつ動作で学ぶ教材支援(PECSなど)	・「いつ・どこで・何を・どのくらい・どのようにして・どうなったら終わる」・個別にわかるように提示。 ・活動ごとにエリアを分けている。(物理的構造化) ・個々にわかりやすい形態での予定や手順の提示。(時間の構造化)・コミュニケーションを視覚的かつ動作で学ぶ教材支援(PECSなど)
16	就労している保護者への配慮	個別のご要望を確認しての対応。 ※送迎到着時間の配慮。 ※面談方法の調整。 ※ペアレント・トレーニングの実施。	個別のご要望を確認しての対応。 ※送迎到着時間の配慮。 ※面談方法の調整。 ※ペアレント・トレーニングの実施。
17	学校との具体的な連携内容	必要に応じて情報共有機会を設定。 ※アセスメント情報や個別支援計画・課題の共有など。 ※サービス担当者会議への参加・主催。 ※移行支援会議への参加。	必要に応じて情報共有機会を設定。 ※アセスメント情報や個別支援計画・課題の共有など。 ※サービス担当者会議への参加・主催。 ※移行支援会議への参加。 ※就労選択支援等への協力。
18	利用相談窓口担当者名	晴山 朋樹	宇恵野大地
19	利用相談窓口担当者との連絡がとりやすい時間帯	10:00～16:45	10:00～16:45

【中央部】		【中央部】	
No.	種類	放課後等デイサービス	放課後等デイサービス
1	事業所名	⑤ゆうきっずぴあ	⑥こどもサポート教室「クラ・ゼミ」 青森篠田校
2	住所	青森市勝田2丁目18-1 サニーパーク平和公園1階	青森市篠田2丁目1-4
3	電話	757-9774	763-5225
4	FAX	757-9776	763-5225
5	利用日・時間	月～金 下校時間～17:00 (土日祝・年末年始を除く) 学校休業日 10:00～16:00	月～土 10:00～19:00
6	定員	児童発達支援と合わせて10名	児童発達支援と合わせて10名
7	空き状況(R8.3.1現在)	なし	なし
8	スタッフの人数	管理者兼児発管:1名 保育士:4名 児童指導員:1名	5名(臨床心理士含む)
9	車椅子を使用している児童の受入	不可	不可
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	あり	なし
12	主に支援を行っている年齢層	小学1年生～中学生	小学生～高校生
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	【学校終了後】 来所→おやつ→学習(個別課題、宿題)→自由遊び→集団活動→帰宅 【学校休校日】 来所→サーキット運動→学習(個別課題、宿題、買い物学習)→昼食→制作活動→自由遊び→集団活動→自由遊び→おやつ→お掃除→帰宅	個別支援 1時間 小集団療育 1～2時間
14	療育や活動を行う上で子ども達に配慮していること	事業所名「ゆうきっずぴあ」とは「ゆうー子ども達に願いをたくした言葉、きっずー子どもたち、ぴあー仲間たち」という意味があります。事業所に通う子ども達が「楽しい！お友達に会いたい！ゆうきっずぴあに行きたい！」と思ってもらえるよう、子ども達の「居場所」となれるよう、ひとりひとりの個性を大切に支援をしています。小さな「できた！」を一緒に喜び、ご家族と一緒にお子さんの成長を支えていきたいと思っています。	言葉、認知、コミュニケーションに加え、発達に遅れや偏りが見られるお子様には、将来の自立に向け必要なスキルの習得を促していきます。
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	1日のスケジュールを黒板に提示しています。個別のスケジュールが必要なお子さんには、お子さんの理解にあわせた方法で提示しています。	スケジュールの提示
16	就労している保護者への配慮	要望に応じて可能な範囲で対応	要望に応じて可能な範囲で対応
17	学校との具体的な連携内容	学校行事の見学 事業所体験の受け入れ 担当者会議への参加 保護者了解を得て学校迎え時担任教諭と情報交換を行っている。(個別支援の見学等を含む)	保護者様の要望により情報交換等を行っています。
18	利用相談窓口担当者名	管理者 新山 千尋	小山
19	利用相談窓口担当者との連絡がとしやすい時間帯	9:00～18:00	10:00～19:00

【中央部】

【中央部】

No.	種類	放課後等デイサービス	放課後等デイサービス
1	事業所名	⑦こどもサポート教室「クラ・ゼミ」 青森松原校	⑧ピリブ児童デイサービス青森東
2	住所	青森市岡造道1丁目2-16	青森市浪打1丁目14-3
3	電話	718-1237	752-0111
4	FAX	718-1237	752-0112
5	利用日・時間	月～土 10時～19時	月～金曜日 営業時間 9:00～17:30 学校休業日以外 13:30～17:30 学校休業日 10:00～16:00
6	定員	児童発達支援と合わせて10名	10名(児童発達支援と合わせて)
7	空き状況(R8.3.1現在)	なし	空き有り
8	スタッフの人数	指導員5名	管理者兼児童発達支援管理責任者 1名 保育士 5名 看護師1名 児童指導員 1名
9	車椅子を使用している児童の受入	不可	可
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	なし	あり
12	主に支援を行っている年齢層	小学生～高校生	小1～高校3年生
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	個別支援 1時間	・セッション(個別療育) ・おやつ ・自由遊び ・集団レクリエーション ・リズム体操 ・帰りの会
14	療育や活動を行う上で子ども達に配慮していること	言葉、認知、コミュニケーションに加え、発達に遅れや偏りが見られるお子様には、将来の自立に向け必要なスキルの習得を促していきます。	・個々の発達段階に合わせて、活動プログラムを組み立てる ・体験する機会を多くもたせる ・将来を見据えて、個別支援計画を作成する
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	・必要に応じて構造化を行っています。 ・スケジュールの提示をして、見通しをもって行動できるように配慮しています。	スケジュールの利用 ワークシステムの使用 視覚的構造化
16	就労している保護者への配慮	必要に応じて対応を行っています。	開所時間の延長
17	学校との具体的な連携内容	保護者様の要望により情報交換等を行っています。	・担当者会議への参加 ・電話にて支援の方向性を確認しています。 園での困り感を療育に反映し減らしていけるようにしています。
18	利用相談窓口担当者名	伊藤 壮一	澤田
19	利用相談窓口担当者との連絡がとしやすい時間帯	10:00～19:00	平日9:00～18:00

【中央部】

【中央部】

No.	種類	放課後等デイサービス	放課後等デイサービス
1	事業所名	⑨放課後等デイサービスきらら佃	⑩放課後等デイサービスきらら篠田
2	住所	青森市佃2丁目4-29 2F	青森市篠田2丁目20-2
3	電話	752-8668	718-0090
4	FAX	752-8667	718-0091
5	利用日・時間	月～土曜日(祝日営業)土曜日は第2土曜日のみ営業 学校登校日 13:30～17:30 学校休業日 10:00～17:00 休み・日曜日/5月3～5日、8月13～15日、12月30日～1月3日	月～金、祝日営業。月1回(第2)土曜営業。 登校日 13:30～17:30 休校日 10:00～17:00
6	定員	児童発達支援と合わせて10名	10名(児童発達支援と合わせて)
7	空き状況(R8.3.1現在)	応相談	応相談
8	スタッフの人数	管理者兼児発管1名 保育士3名 児童指導員1名	管理者兼児発管 1名 保育士 3名 児童指導員 1名
9	車椅子を使用している児童の受入	現在は受け入れなし	現在は受け入れなし
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	あり	有
12	主に支援を行っている年齢層	小学生、中学生、高校生	小学生 中学生 高校生
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	個別学習・運動・遊び(感覚統合を取り入れたもの) おやつ・自立課題・レクリエーション・振り返り	個別支援・運動・遊び(感覚統合を取り入れたもの)・おやつ・自立課題・レクリエーション・振り返り
14	療育や活動を行う上で子ども達に配慮していること	特性の理解と状況に合わせた対応 TACCH法などで子どもの実態やニーズに応じた実践 自己肯定感を高める支援	特性の理解と状況に合わせた対応 TEACCH法などで子供の实態やニーズに応じた実践 自己肯定感を高める支援
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	スケジュールの構造化(絵・写真)・視覚構造化(写真と実物の対応)・SSTカードを場面に応じ使用(社会性を養う)	スケジュールの構造化(絵、写真)・視覚構造化(写真と実物の対応)・SSTカードを場面に応じて使用(社会性を養う)
16	就労している保護者への配慮	応相談	応相談
17	学校との具体的な連携内容		送迎時に担任の先生より当日の様子を伺う 要望に応じて学校支援会議の出席
18	利用相談窓口担当者名	管理者兼児発管 瀧澤 翼	管理者 石澤 悠
19	利用相談窓口担当者との連絡がとしやすい時間帯	9:00～17:00	9:30～17:00

【中央部】

【中央部】

No.	種類	放課後等デイサービス	放課後等デイサービス
1	事業所名	⑪ハッピールームくるみ	⑫こどもプラス 青森東教室
2	住所	青森市新町2丁目16-3 ポレスター新町プレミアムステージ1階	青森市茶屋町6-14
3	電話	017-752-1445	752-7875
4	FAX	017-752-7034	752-7876
5	利用日・時間	月～金 14時～17時 学校休業日 9時半～17時(祝日含む)	月～金 13:00～17:00 土・学校休業日 10:00～17:00 日・祝日は休み、8/13～8/15、12/29～1/3 休み
6	定員	10名	10(児童発達支援と合算)
7	空き状況(R8.3.1現在)	空き無し	曜日によっては空き有り
8	スタッフの人数	管理者兼保育士1名、児童発達支援管理責任者1名、保育士3名	保育士3名 社会福祉士1名 管理者兼児童発達支援管理責任者1名
9	車椅子を使用している児童の受入	否	不可
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	有り	有 ・保護者の希望がある場合 ・送迎範囲有
12	主に支援を行っている年齢層	小学生(1年～6年)	小1～小6
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	・専門的支援 ・集団活動…食育や音楽療法がある日は実施 ・おやつ ・自由遊び ・掃除 ・帰りの会	・運動療育プログラム ・ソーシャルスキルトレーニング ・静かな活動 ・聞き取りワーク ・個別課題 ・集団遊び ・製作活動 ・余暇活動 ・食事、おやつ ※利用時間や利用児童により変動有
14	療育や活動を行う上で子ども達に配慮していること	・児童一人ひとりの発達や興味に合わせた活動、様々な体験の機会を提供しています。 ・活動の見通しを示し、安心して取り組めるようにしています。 ・楽しみながら学べるように工夫し、できた体験を増やせるよう支援しています。 ・活動中は理解度に応じた声かけやサポートを行っています。 ・安全で快適な環境を整え、子ども同士の関わりにも配慮しています。	・運動療育がメインのため、ケガ防止の準備体操は必ず行っています。 ・個別支援計画に添って、個々の能力に合わせた運動療育をしています。 ・できなかった運動ができるようになった時には、たくさんほめて自信につなげていきます。
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援…スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	・一日のスケジュールや活動内容等を視覚的に示す視覚支援を行っています。 ・パーテーションなどを使い、空間を仕切ることで落ち着いて活動できる環境を整えています。	大きなホワイトボードにイラスト付きのスケジュールを掲示しています。低学年の児童のために、漢字にはルビをふっています。
16	就労している保護者への配慮	・保護者の要望に対して、可能な範囲で対応しています。 ・必要に応じて、子どもの様子や活動内容の情報提供や相談にも応じています。	送迎の時間や場所を可能な限り希望に沿えるようにしている。
17	学校との具体的な連携内容	・送迎時に学校の先生からお話があった場合は、内容に関係者と情報共有しています。 ・年2回～必要に応じて、学校と子どもの様子や活動状況について情報共有を行っています。	・学校送迎時に担任の先生からお話があった場合、こどもプラスの様子を伝え、情報共有しています。 ・保育所等訪問支援事業 学校での様子を保護者と情報共有し、学校での困り感を療育に反映し、できるだけ減らしていけるようにしています。 ・担当者会議への参加
18	利用相談窓口担当者名	管理者 吉田司	児童発達管理責任者 川越 剛
19	利用相談窓口担当者との連絡がとりやすい時間帯	9時～17時	10:00～17:00

【中央部】

【中央部】

No.	種類	放課後等デイサービス	放課後等デイサービス
1	事業所名	⑬クラスルームなないろ	⑭ピリブ児童デイサービス青森ぐんぐん
2	住所	青森市浦町奥野289-1	青森市浪打1丁目14-3 JMGビル2階
3	電話	752-0307	017-752-1220
4	FAX	752-0308	017-752-1221
5	利用日・時間	月曜日～金曜日 15:30～16:45 なないろライフ① 17:00～18:15 なないろライフ②	月～金(土・日・祝・盆・正月休み) 営業時間 9:00～17:30 (サービス提供時間:平日 13:30～17:30 休日 10:00～16:00)
6	定員	児発と放デイの多機能で 10名	10名
7	空き状況(R8.3.1現在)	なし	空きなし
8	スタッフの人数	児発管1名、児童指導員4名	管理者兼児童発達支援管理責任者 1名 保育士 2名 児童指導員 3名 支援員 1名
9	車椅子を使用している児童の受入	なし	不可
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	なし	有
12	主に支援を行っている年齢層	小1～高3	小学1年生～高校3年生
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	個別指導のため、個々に合わせた支援内容とプログラムになっています(お子さんによってプログラム内容が違います)。	・個別セッション(専門的支援) ・自立課題(宿題・一人でやる課題) ・集団活動(レクリエーション・行事・小グループでのゲーム) ・余暇、遊び ・週2回 体育館での運動プログラム ・中、高校生を対象とした就労支援プログラム(プレジョブ)
14	療育や活動を行う上で子ども達に配慮していること	認知レベル・発達レベルに合わせた内容。 個別のカウンセリングや相談が多いため、個室での活動となっています。	・一人ひとりの発達課題に合わせた活動や支援の提供 ・各学年に合わせ、必要とされるスキルの獲得 ・体験する機会 ・スモールステップによる成功体験の積み重ね ・ダイナミックな活動を提供することで感覚統合やストレス発散を促す
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	認知レベルに合わせた視覚的スケジュール提示をしています。 物理的構造化を行い、感覚の問題に配慮するため刺激の統制をしています。	・構造化支援(スケジュール・部屋の配置) ・ワークシステムの活用 ・絵カード等を使用したコミュニケーション
16	就労している保護者への配慮	外出介護やタクシーを利用して通所可。	延長支援での対応
17	学校との具体的な連携内容	保育所等訪問支援を利用しているお子さんが多いため、定期的に訪問支援を行っています。	担当者会議への参加 送迎時等においての情報共有
18	利用相談窓口担当者名	田邊・米澤	小鹿
19	利用相談窓口担当者との連絡がとやすい時間帯	9:30～18:30	9:00～18:00(月～金)

【中央部】

【中央部】

No.	種類	放課後等デイサービス	放課後等デイサービス
1	事業所名	⑮放課後等デイサービスばぶりか	⑯児童発達支援・放課後等デイサービスゆい
2	住所	青森市富田3-16-50	青森市堤町二丁目5-13
3	電話	782-1666	017-753-1150
4	FAX	782-1679	017-753-1150
5	利用日・時間	平日 13:30～17:30 休校日 9:00～16:00	平日・10:00～17:00
6	定員	児童発達支援・放課後等デイサービスで1日あたり10名	10人
7	空き状況(R8.3.1現在)	なし	都度相談になります
8	スタッフの人数	管理者・児童発達支援管理責任者・保育士・児童指導員 他7名	5人
9	車椅子を使用している児童の受入	不可	していません
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	人工呼吸器:不可能 気管切開:不可能 吸引:不可能 経管栄養:不可能
11	送迎の有無	有	有り
12	主に支援を行っている年齢層	小学校1年生～小学校6年生	小学生
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	<平日>(例) 14:30 始まりの会・健康確認 16:15 休憩 17:15 終わりの会 15:00 自主学習 16:20 ココロマップ 15:45 おやつ 16:40 休憩 16:00 集団体操 16:50個別ゲーム・運動 <休校日>(例) 10:00 始まりの会・健康確認 13:00 休憩 15:00 おやつ 10:30 集団体操 13:15 運動 15:15 運動かゲーム 10:45 休憩 13:45 休憩 15:45 帰りの会 11:00 ココロマップ 14:00 個別ゲーム 12:00 昼食 14:45 バランサー	14:30おやつ/15:00個別・集団療育・自由あそび/17:00送迎
14	療育や活動を行う上で子ども達に配慮していること	・デジタル認知テストを用いて認知機能のアセスメントを行い、お子様一人ひとりの発達の特性、偏りに合わせた学習や訓練などの支援などをしています。その他に楽しく過ごせる工夫や余暇活動の提案、状況に応じて外出等の検討もしています。	成功体験の場を多くつくること
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	・個々のスケジュールの活用。 タイマー等活用して「終わり」を教えています。	
16	就労している保護者への配慮	延長支援や送迎時間の調整を行っています。	事業所内での様子をできるだけたくさん伝えていく
17	学校との具体的な連携内容	担当者会議への参加や児童引き受け時に情報共有しています。	
18	利用相談窓口担当者名	澤谷 裕子	古屋敷 藍
19	利用相談窓口担当者と連絡がとりやすい時間帯	平日 10:00～13:30	

【西部・北部】

【西部・北部】

No.	種類	放課後等デイサービス	放課後等デイサービス
1	事業所名	⑰青森県あすなろ療育福祉センター	⑱児童デイサービスあおねっと新青森
2	住所	青森市大字石江字江渡101	青森市石江5丁目4-2 フラシオン103・105・106号
3	電話	781-0174(内線41)	757-8106
4	FAX	766-4396	757-8107
5	利用日・時間	月～金(祝日、年末年始を除く) 授業終了後は12:00～16:45 学校休業日は8:45～16:45	月～金曜日 9:00～17:00
6	定員	児童発達支援と合わせて10名／日	10名/1日(児童発達支援とあわせて)
7	空き状況(R8.3.1現在)	曜日によってあり	なし
8	スタッフの人数	管理者1名、児童発達支援管理責任者1名、児童指導員(保育士)1名、保育士4名、看護師2名(内1名は兼務)、医師2名、OT1名(管理者、医師、OTは兼務)	・所長1名 ・児童発達支援管理責任者1名 ・保育士3名 ・児童指導員4名
9	車椅子を使用している児童の受入	可(現在、通所児は全員車いす使用)	可
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 可能 ・吸引 可能 ・経管栄養 可能 ・その他(導尿、胃ろう) 可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 要相談
11	送迎の有無	無	あり(車両や人員の配置が困難な時は要相談)
12	主に支援を行っている年齢層	小学校1年生から中学3年生 (対象児:高校3年生まで)	小学校1年生～高校3年生
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	登所→健康チェック・検温→自由遊び→(10:00水分補給・おやつ)→余暇活動→排泄→(11:45昼食)→(排泄)→集団活動→排泄→おやつ・水分補給→排泄→降所	個別課題・生活支援・集団支援(行事、余暇活動、製作活動を含む)
14	療育や活動を行う上で子ども達に配慮していること	・基本的な生活習慣(食事・排せつ・着脱)の確立(目と手の協応、微細運動等) ・人間関係、社会性(小集団で過ごす、自分の順番やルールを知り・守る、マナー等) ・コミュニケーション(理解・表出)	・事業所の活動が安心して楽しく感じられるようにしている。 ・自立した生活が送れるように基本的な日常生活動作等、事業所での活動を通じて成功体験を積み本人の出来ることを増やし、自己肯定感を持てるようにする ・中学生からは就労系の作業課題も取り入れている
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	重症心身障がい、若しくは肢体不自由の児童を対象とし、発達障害の受入れは無し	・スケジュール、絵カードでの視覚支援 ・色、イラスト、文字、写真、パーテーション、ブース机等室内環境整備 ・コミュニケーションツールでの意思表示支援
16	就労している保護者への配慮	ご家族から困り事や相談があった時は、積極的に支援していきます。	延長支援、送迎の時間調整
17	学校との具体的な連携内容	①青森第一養護学校とは入所時の申し送り ②青森第一養護学校、センター連絡会議に出席 ③学校見学会への参加。事業所見学の受け入れ	・学校と児童の支援方法について会議等を開催して支援方法の共有化、情報交換している ・送迎時の情報交換
18	利用相談窓口担当者名	工藤	前田
19	利用相談窓口担当者との連絡がとやすい時間帯	9:30～16:45	9:00～17:00

No.	種類	放課後等デイサービス	放課後等デイサービス
1	事業所名	⑱サクラサクいしえ	⑳ビリーブ児童デイサービス青森西
2	住所	青森市大字石江字江渡83-7	青森市油川千刈113-1
3	電話	718-8480	787-1261
4	FAX	718-8490	787-1262
5	利用日・時間	月～金曜日 放課後～17:00 長期休み・休校日 9:00～17:00	月～金曜日 営業時間 9:00～17:30 学校休業日以外 13:30～17:30 学校休業日 10:00～16:00
6	定員	10名/1日(児童発達支援と合わせて)	10名
7	空き状況(R8.3.1現在)	曜日による 応相談	空きなし
8	スタッフの人数	管理者1名、児童発達支援管理責任者1名、看護師1名、 看護師(パート社員)1名、保育士2名	管理者兼児童発達支援管理責任者1名 常勤1名 保育士1名 児童指導員5名 その他3名
9	車椅子を使用している児童の受入	可	可能
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 可能 ・吸引 可能 ・その他導尿可能 ※都度応相談	現時点では ・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	第一養護学校、第一高等養護学校のお迎えのみ	あり
12	主に支援を行っている年齢層	小学校1年生～高校3年生	6歳～18歳(小学1年生～高校3年生)
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	①来所 ②バイタルチェック ③リラックスタイム、個別療育(体調に合わせて) ④集団活動(体調をみながら) ⑤おやつ、水分補給 ⑥リラックスタイム、個別療養(体調に合わせて) ⑦帰宅 ※オムツ交換、更衣適宜	・セッション(個人療育) ・おやつ ・自由遊び ・集団レクリエーション ・リズム体操 ・帰りの会
14	療育や活動を行う上で子ども達に配慮していること	・ひとりひとり利用者様によって発作が多い方、吸引器を側に設置しなければならない方、服用している薬の調整などにより体調が不安定な方、その日によって腹痛や筋緊張が強い方など様々見られるので、体調に留意し対応している。 ・特変無い様子であっても、利用者様の状態確認は怠らず、少しの変化に気づけるようしながら集団活動、個別療育、リラックスタイムを行っている。 ・周囲に危険の無いよう、利用者様の周囲の安全に配慮している。	・個々の発達段階に合わせて、活動プログラムを組み立てる ・体験する機会を多くもたせる ・将来を見据えて、個別支援計画を作成する
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援…スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	・医療的ケアが安全に出来るよう、その日の利用者様に合わせて使用する部屋や物品等の配置を職員間で話し合い設定する。 ・集団活動では、あいさつ、呼名、視診、カレンダーなどから始め、個別活動でははじめとおわりのあいさつをし、ゆったりと進めながらもメリハリをつける。	・スケジュール等の利用 ・ワークシステムの利用 ・視覚的構造化
16	就労している保護者への配慮	お迎えが遅れる場合は、営業時間外に延長利用可能	開所時間の延長(8:00～18:00)
17	学校との具体的な連携内容	・日中の学校での体調(全身の筋緊張、顔色、食欲、発作など)を、お迎えの際に教諭より伺い、事業所に戻り次第申し送りし共有する。 ・反応が良かった授業や遊び(または逆に苦手な授業や遊び)を教諭より伺い、事業所での集団活動や個別療育の参考にしていく。	事業所見学の受入 学校送迎時の情報共有 支援会議への参加
18	利用相談窓口担当者名	児童発達支援管理責任者 山崎	加藤
19	利用相談窓口担当者との連絡がとやすい時間帯	10:00～12:00、13:00～17:00	平日9時～18時

No.	種類	放課後等デイサービス	放課後等デイサービス
1	事業所名	㉑エジソンキッズ青森西	㉒放課後等デイサービス レスパイトハウスTOMO
2	住所	青森市新城字山田436-2	青森市大字三内稲元109-38
3	電話	764-0181	781-5553
4	FAX	764-0182	718-5539
5	利用日・時間	月～金 9:00～17:00(主に13:00～17:00)	月～金 13:30～18:00 休校日(土曜日含) 10:00～15:00
6	定員	児童発達支援とあわせて10名	10名
7	空き状況(R8.3.1現在)	あり	無し
8	スタッフの人数	7名	管理者1名、児発管1名 保育士4名、児童指導員1名
9	車椅子を使用している児童の受入	不可	現在は不可
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	あり(範囲は要相談)	・青森県立青森第二養護学校 ・事業所 ↔ 自宅
12	主に支援を行っている年齢層	6歳から18歳まで	小学生～高校生
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	13:00～(長期休みや不登校等) 自宅へお迎えか、親御さんのお迎え 13:00～15:00(通学時) 学校がある日は各学校にお迎え 15:00～16:00 1日の流れを伝える。個々のテーマを意識しつつ集団活動。(晴天時)裏の公園で、鬼ごっこや虫とり、図鑑で花や鳥観察・分析して考える力を養う。畑づくり。(荒天時)施設内ホールで運動やビジョントレーニング等、ストレスを発散し、学びのペース作りと運動能力を養う。その他、間違い探しや数遊びなどでコミュニケーション力を学ぶ。 16:00～16:30 おやつ、話し合って活動を決める。交渉力や自分の気持ちを話すソーシャルスキルトレーニング。 16:30～16:50 話し合いで決まった内容に沿って活動 16:50～ お片付け、帰り支度後、各家庭に送り届ける	長期休み 登所→検温→手洗い・うがい→排泄→課題→休憩→課題→休憩→(行事等)→休憩→昼食・歯磨き・うがい→ラジオ体操→課題→休憩→課題又は行事→おやつ・歯磨き→課題→休憩→16:00帰宅 平日 ・下校・登所→検温・手洗い・うがい・排泄→課題→休憩→課題(行事含む)→おやつ・歯磨き・顔洗い→課題→休憩×2回ほど→17:00帰宅
14	療育や活動を行う上で子ども達に配慮していること	★★★自信を育て・可能性を伸ばす療育★★★ 職場・買い物体験、料理、掃除、運動など、多様な環境を作り、子どもの素質と可能性を発見し伸ばす。 いけないことをしても指示・命令せずに、気持ちに寄り添い、子どもの気づき、成功体験で終われるよう支援する。 ★★★インクルーシブ教育★★★ 社会に出て困らないように、一般参加者とイベント活動を行ったり、異年齢の中でソーシャルスキルと生きる力を養う。	身辺自立とコミュニケーション・社会性の実践を適しながら自己肯定感を高める支援。
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	絵カードやタイマー、クールダウンスペースなどの環境整備と、子どもとの話し合いでその日の構造化を柔軟に行っている。	・個々に合わせたスケジュールの設定(スケジュールの長さや、イラスト+絵、又は文字+時間など) ・お子さんによっては具体物での提示を行っている。 ・課題室においては環境又は物理的構造化(机の配置やパーティションの活用)を行っている。 ・絵カード使用。
16	就労している保護者への配慮	・就業中などにも配慮して、LINEなど多様な連絡方法で対応 ・親御さんに合わせた送迎時間の調整	・親御さんの就労に対応して延長支援あり。 ・移送サービス利用に関してのアドバイス。
17	学校との具体的な連携内容	・不登校の児童が出席認定できるように、施設への出席状況を学校に連絡している ・小学校のすこやか会議や中学校思春期教室などに、講師として協力したり、教育委員会の会議に定期的に参加し情報交換や連携をしている	・学校、相談支援事業所、家庭から担当者会議の依頼があれば、出来る限り参加している。 ・送迎時、お話しする機会があれば、お子さんの状況を確認させて頂くことがある。
18	利用相談窓口担当者名	内山 秀貴	児童発達支援管理責任者 中山 憲子
19	利用相談窓口担当者との連絡がとしやすい時間帯	10:00～12:00、13:00～17:00	11:00～13:00

【西部・北部】

【西部・北部】

No.	種類	放課後等デイサービス	放課後等デイサービス
1	事業所名	㉓こどもプラス青森西教室	㉔アトリエさくら
2	住所	青森市安田近野87-2	青森市浪館字志田38-6
3	電話	763-5866	753-1121
4	FAX	763-5867	772-0013
5	利用日・時間	月～金 13:00～17:00 土・日・学校休業日 10:00～17:00 日・祝日は休み、8/13～15、12/29～1/3休み	月～金 9:00～18:00 授業終了後～17:00 サービス提供時間
6	定員	10名（児童発達支援と合算）	7～8名
7	空き状況（R8.3.1現在）	無	なし
8	スタッフの人数	保育士4名 管理者兼児童発達支援管理責任者1名	児童発達管理責任者兼作業療法士 1名 言語聴覚士 1名 保育士 1名 看護師 1名
9	車椅子を使用している児童の受入	不可	否
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	（具体的なケア内容をお知らせください） ・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 可能 ・吸引 可能 ・経管栄養 可能 ・その他（坐薬） 可能
11	送迎の有無	有 ・保護者の希望がある場合・送迎可能範囲有	有
12	主に支援を行っている年齢層	小1～小6	小学校1年生
13	具体的な支援のプログラム（1日の流れについて）	・運動療育プログラム ・静かな活動 ・個別課題 ・製作活動 ・食事、おやつ ※利用時間や利用児童により変動有	・ソーシャルスキルトレーニング ・聞き取りワーク ・集団遊び ・余暇活動
14	療育や活動を行う上で子ども達に配慮していること	・運動療育がメインのため、ケガ防止の準備体操は必ず行っています。 ・個別支援計画に添って、個々の能力に合わせた運動療育をしています。 ・できなかった運動ができるようになった時には、たくさんほめて自信につなげています。	授業終了後 順次到着（送迎） 手洗い 15:00 おやつ 15:30 個別療養、宿題、社会性・身体・感覚・感情のトレーニング 16:50 おわりの会 17:00 順次帰宅（送迎）
15	発達障害の児童に対する構造化支援（※）の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	大きなホワイトボードにイラスト付きのスケジュールを掲示しています。低学年の児童のために、漢字にはルビをふっています。	一人一人の子供に合わせた療育。 視覚的に分かりやすい提示の仕方、構造化を行い環境調整している。 怒らない。 安心・安全に遊べること。 楽しく過ごしてもらおう。 職員同士が一人一人の子供について話し合っている。
16	就労している保護者への配慮	送迎の時間や場所を母親の希望に合わせています。	送迎等の負担が軽減されるよう、学校→自宅の送迎を行っている。
17	学校との具体的な連携内容	・学校送迎で担任の先生からお話があった場合、こどもプラスでの様子を伝えてたりして、情報を共有しています。 ・学校での様子を保護者と情報共有し、学校での困り感を療育に反映し、できるだけ減らしていけるようにしています。 ・担当者会議への参加 ・保護者様の希望により保育所等訪問を利用できます。	・利用開始前やモニタリング時期等必要に応じて学校等へ訪問、電話等でご本人の様子を聞いている。送迎時には変わった様子などがあった場合を含め事業所での様子をお伝えしている。
18	利用相談窓口担当者名	児童発達支援管理責任者 川越 真紀子	小笠原 郁子
19	利用相談窓口担当者との連絡がとりやすい時間帯	10:00～17:00	9:00～18:00

【西部・北部】

【西部・北部】

No.	種類	放課後等デイサービス	放課後等デイサービス
1	事業所名	㊤放課後等デイサービス かがやき	㊤HOWDAY SUNマル(ホーデイサンマル)
2	住所	青森市大字新城字平岡225番地57	青森市大字三内字丸山165番地80
3	電話	017-718-8230	017-752-8845
4	FAX	017-718-8229	017-752-8846
5	利用日・時間	月曜日～金曜日(放課後利用日) 13:00～17:00 学校休校日(土曜日含む) 9:30～16:00 ※但し、土曜日の休業日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)を除く	毎週月～金曜日 下校時間～5:00pm
6	定員	10名	10人
7	空き状況(R8.3.1現在)	空きなし	水曜日2人、金曜日1人
8	スタッフの人数	5名	5名
9	車椅子を使用している児童の受入	なし	不可
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	あり	有
12	主に支援を行っている年齢層	小学生～高校生	小学生
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	利用者それぞれの個別支援計画を基に個別カリキュラムを作成し、支援にあたっています。又、学校休校日(土曜日含む)は集団活動としてレクリエーションを取り入れています。	来所→個別課題・宿題→おやつタイム・自由遊び→集団活動→お掃除タイム→自由遊び→退所
14	療育や活動を行う上で子ども達に配慮していること	保護者及び利用者の意向や心身の状況等のアセスメントを行い、生活能力向上のための訓練および、社会との交流促進等を継続的に支援し、障がいのある児童の療育の場、居場所としての役割とともに、家族に代わって一時的なケアを行うことで、家族の負担の軽減や利用者の生活の向上をお手伝いしております。	安心と安全
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	必要に応じて絵文字カードを使いながらの視覚支援や集団で活動する場合又、集団での活動が苦手な方へのパーテーションで仕切られた空間の確保及びクールダウンや切り替えが必要な方の為の、簡易的な場所の確保を行っております。	スケジュールを視覚支援、タイマーを使った時間管理
16	就労している保護者への配慮	延長支援や送迎時間の調整など必要に応じて、可能な限り対応しております。	母親の勤務先への送迎など、営業時間内での延長支援
17	学校との具体的な連携内容	学校との情報の連携を図り利用者それぞれにあった支援を目指しています。	具体的には特にまだありませんが授業参観への参加などしています
18	利用相談窓口担当者名	安保 雄太	和田・古村
19	利用相談窓口担当者との連絡がとりやすい時間帯	月曜日から金曜日 9:00～17:00	9時から18時まで(緊急時和田携帯)

【南部】

【南部】

No.	種類	放課後等デイサービス	放課後等デイサービス
1	事業所名	㉗ジョブアカデミー桜川	㉘こどもサポート教室「クラ・ゼミ」 青森桜川校
2	住所	青森市桜川7丁目15-31 NFビル1階	青森市桜川6丁目14-10
3	電話	764-0434	718-3395
4	FAX	764-0434	718-3395
5	利用日・時間	月～金 放課後 13:00～17:30 学校休業日 11:30～17:30	月～土(祝日あり) 10時～19時
6	定員	10名	児童発達支援と合わせて10名
7	空き状況(R8.3.1現在)	曜日によって有り	なし
8	スタッフの人数	7名(管理者兼児発管1名 保育士4名 児童指導員2名)	7名
9	車椅子を使用している児童の受入	要相談	不可
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	あり(地域に制限あり、要相談)	なし
12	主に支援を行っている年齢層	中学生～高校生	小学生～高校生
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	・一日の流れ 来所→手洗いうがい→バイタルチェック→プログラムに沿った活動 ・主なプログラム パソコン(タイピング、Excel、Word等) ソーシャルスキルトレーニング、作業訓練、ビジネスマナー等	個別支援 1時間 (例)挨拶→今日の流れ→課題→挨拶→フィードバック
14	療育や活動を行う上で子ども達に配慮していること	個々の特性の理解と、スタッフ間で情報を共有し子供たちが混乱しないように共通した支援を心掛けている	言葉、認知、コミュニケーションに加え、発達に遅れや偏りが見られるお子様には、将来の自立に向け必要なスキルの習得を促していきます。
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援…スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	物理的構造化～刺激を減らす為、掲示物は最低限にしている。パーテーションによる個別スペース。イヤーマフ。 視覚的構造化～個々の特性に応じて作成(スケジュール・手順書)	スケジュールの提示
16	就労している保護者への配慮	要望に応じて可能な範囲で対応	必要に応じて可能な範囲で対応
17	学校との具体的な連携内容	事業所見学の受け入れ 担当者会議への参加 行事の参加 保護者様同意のもと、学校送迎時の情報交換	保護者様の要望により情報交換等を行っています。
18	利用相談窓口担当者名	佐藤	三田
19	利用相談窓口担当者との連絡がとしやすい時間帯	10:00～18:30	10:00～19:00

【南部】

【南部】

No.	種類	放課後等デイサービス	放課後等デイサービス
1	事業所名	㊹児童デイサービスあおねつと青森南	㊻放課後等デイサービス まあむMs
2	住所	青森市大字大矢沢字里見92-1	青森市青葉2丁目2-2 1階
3	電話	757-9165	080-4191-5337
4	FAX	757-9166	764-0028
5	利用日・時間	月～金 放課後～17:00 学校休業日 10:00～16:00 延長支援17:00～17:59(学校休業日は16:00～) ※送迎時間を含まず	営業時間：(月～金)午前9:00～午後5:30 (土・休校日)午前9:00～午後5:30
6	定員	児童発達支援と合わせて 10名	10名
7	空き状況(R8.3.1現在)	あり	無し
8	スタッフの人数	所長1名、児童発達支援管理責任者1名 保育士4名、指導員1名	管理者兼児童発達支援管理責任者1名 児童指導員3名、保育士2名、指導員1名
9	車椅子を使用している児童の受入	可	不可
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	あり	有り
12	主に支援を行っている年齢層	小学生から高校生まで	小1～中3
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	個別(自立支援)・集団・生活支援(季節ごとの行事含む)	＜平日＞ ・始まりの会・個別課題・おやつ・はみがき・集団活動またはレクリエーション・帰りの準備 ＜休校日＞ ・始まりの会・個別課題①・余暇活動・昼食・はみがき・休憩・個別課題②・余暇活動・おやつ・はみがき・集団活動またはレクリエーション・帰りの準備
14	療育や活動を行う上で子ども達に配慮していること	スケジュールを設定し、見通しを持って過ごし、安全な環境(ハード・ソフト面への配慮)でのサービスの提供	・環境設定の整備。 ・自己選択・自己決定する機会を設定。 ・継続したアセスメントの実施。 (置かれている環境に対するアセスメントも含む) ・エンパワメントに着目し「できた!!」を自信に繋げる。 ・スモールステップで前進する支援の提供。 (個別→集団へ適応する力の習得)
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	活動内容に応じたパーテーションの設置と、視覚的支援(スケジュール、コミュニケーションツールを使用した絵カード等での支援)	・スケジュールの提示 ・視覚的指示による活動場所への移動 ・活動部屋の振り分け
16	就労している保護者への配慮	延長支援17:00～17:59(学校休業日は16:00～)での対応	・定期的な面談の実施。 ・その他、相談があった場合、その都度対応。
17	学校との具体的な連携内容	・相談支援事業所が開催する支援会議への参加、児童引き受け時、連絡帳等での状況と情報共有	・送迎時、その日の様子を確認する等の情報共有の実施。 ・その都度、緊急性のある情報等の電話連絡。 ・個別ケースに伴う連携会議の実施。
18	利用相談窓口担当者名	佐々木 尚美・神 麻衣	長尾 かおる
19	利用相談窓口担当者との連絡がとやすい時間帯	9:00～17:00	午前10:00～午後5:00

【南部】

【南部】

No.	種類	放課後等デイサービス	放課後等デイサービス
1	事業所名	㊸放課後等デイサービスまあむ あおば	㊸レアリスルあつぷ
2	住所	青森市青葉2丁目2-2 2F	青森市桂木4丁目2-1
3	電話	017-764-0027	017-721-0130
4	FAX	017-764-0028	017-721-0131
5	利用日・時間	営業時間:9:00～17:30 サービス提供時間:(月～金)午後13:00～17:00 (土) 午前10:00～17:00	月～金(祝日含む)9:00～18:00 サービス提供 学校日13:00～17:00 休み10:00～16:00
6	定員	10名	児童発達支援と合わせて10名
7	空き状況(R8.3.1現在)	なし	なし
8	スタッフの人数	管理者兼児童発達支援管理責任者1名 児童指導員2名、保育士2名、指導員1名	現4名 R5.4.1～6名
9	車椅子を使用している児童の受入	不可	否
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	有り	有
12	主に支援を行っている年齢層	小1～中3	6～12歳
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	＜平日＞ ・始まりの会・個別課題・おやつ・集団活動またはレクリエーション ・帰りの会 ＜休校日＞ ・始まりの会・個別課題①・余暇活動・昼食・休けい・個別課題② ・余暇活動・おやつ・集団活動またはレクリエーション・帰りの会	・来所(送迎) ・余暇 ・個別課題 ・自立課題 ・運動課題 16:45 帰りの会 17:00 送迎
14	療育や活動を行う上で子ども達に配慮していること	・環境設定の整備 ・自己選択 自己決定する機会を設定 ・継続したアセスメントの実施(置かれている環境も含む) ・エンパワメントに着目「できた」を増やし達成感につなげる ・スモールステップで行う支援の提供(個別から集団へ適応する力の習得)	・児童一人ひとりの障がい特性の把握に努め、特性に応じた個別支援を提供している。 ・見通しを持って生活できるようスケジュールとタイマーを活用している。 ・不適応行動がどのような特性によるものなのかを十分アセスメントし、行動の結果に対してむやみに「しかる、怒る」、ことをしないようにしている。 ・家庭環境、学校の状況をしっかりととらえ、支援にいかしている。
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	・一人ひとりの特性に合わせたスケジュールの提示。 ・活動ごとに部屋分け。 ・絵カードを使用した支援。	・スケジュール、タイマーの活用 ・パーテーションを使った構造化 ・PECS等絵カードを利用したコミュニケーションのサポート
16	就労している保護者への配慮	・定期的な面談の実施。 ・その他相談があった場合、その都度、対応。	・学校、自宅、児童会への送迎の実施
17	学校との具体的な連携内容	・送迎時、その日の様子を確認する等、情報共有の実施。 ・その都度、緊急性のある情報等の電話連絡。 ・個別ケースに伴う連携会議への参加。	保育所等訪問支援
18	利用相談窓口担当者名	成田 圭太	中川 敏之(管理者)
19	利用相談窓口担当者と連絡がとしやすい時間帯	10:00～17:30	9:00～14:00、16:00～17:00

【南部】

【南部】

No.	種類	放課後等デイサービス	放課後等デイサービス
1	事業所名	㊸Eat-in by きらら	㊹グラマメリー
2	住所	青森市浜田2丁目15-16	青森市大野山下177-20 メイクビル1F
3	電話	017-763-5570	718-7737
4	FAX	017-763-5576	718-7707
5	利用日・時間	月曜日～金曜日(祝日は営業)10:00～12:30 土曜日、日曜日は休業	火曜日～金曜日/学校終了後～18:00 土曜日・学休日 10:00～16:00
6	定員	児童発達支援と合わせて10名	10名
7	空き状況(R8.3.1現在)	無し	空きなし
8	スタッフの人数	管理者兼児発管1名 保育士2名 児童指導員2名	5名 (管理者兼児発管 1名、保育士 2名、作業療法士 1名、 看護師1名)
9	車椅子を使用している児童の受入	無	現在していません
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能 検討中	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	有り	有り (学校、ご自宅(祖父母宅)に送迎します)
12	主に支援を行っている年齢層	小学生、中学生、高校生	小学生
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	個別学習・運動、遊び(感覚統合を取り入れたもの) おやつ・自立課題・レクリエーション・振り返り	(学校登校日) 学校お迎え→手洗いうがい・健康チェック→おやつ→ 宿題・課題→個別支援→自由遊び・集団活動→送迎 (学休日・長期休暇) お迎え→手洗いうがい・健康チェック→課題・自由遊び→昼 食→集団活動→おやつ→送迎
14	療育や活動を行う上で子ども達に配慮していること	特性の理解と状況に合わせた対応 TEACCH法などで子どもの実態やニーズに応じた実践 自己肯定感を高める支援	お子さまの特性に合わせた接し方をし、活動プログラムを用意する。子ども達が安心して楽しく過ごせるようにしています。
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	スケジュールの構造化(絵・写真)・視覚構造化(写真と実物の対応)・SSTカードを場面に応じ使用(社会性を養う)	・1日のスケジュールをイラストを使って提示 ・場面に応じてSSTカードを使用する ・空間の構造化
16	就労している保護者への配慮	平日、休日の送り出しをPM6時に設定予定 平日週2回の夕食の提供、休日の昼食の提供予定	・ご家庭の事情に合わせて、送迎場所、時間の対応をする ・支援内容やお子さまの活動の様子を連絡帳、SNS等の活用、送迎時にお伝えするなどし、安心できるようにしていきます
17	学校との具体的な連携内容	保護者に同意を得た上で情報交換 緊急連絡体制の確認	・送迎時等、学校の担当教員とのやりとりの中で利用児の様子を聞き支援につなげる ・必要に応じて支援会議を行う
18	利用相談窓口担当者名	児童発達管理責任者 遠山 裕一	佐藤 尚子
19	利用相談窓口担当者との連絡がとしやすい時間帯	管理者兼児発管 遠山 裕一 9:00～17:00	火曜日-土曜日 午前

【南部】

【南部】

No.	種類	放課後等デイサービス	放課後等デイサービス
1	事業所名	㊸児童発達支援・放課後等デイサービス ななき	㊸サポートてらす
2	住所	青森市桂木3丁目18-2	青森市西大野5丁目1-1
3	電話	017-718-5735	017-752-1151
4	FAX	017-718-5736	017-752-1153
5	利用日・時間	月～金 13:00-17:00 土曜日 10:00-16:00	営業日 月曜から土曜(祝日、年末年始は除く) 開所時間9時から17時
6	定員	放課後等デイサービス 10名	10名程度
7	空き状況(R8.3.1現在)	なし	各曜日1～2名程度
8	スタッフの人数	10名	児発管兼管理者1名 保育士5名 作業療法士1名
9	車椅子を使用している児童の受入	可能	可能ではあるが利便性はよくない
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 可能 ・気管切開 可能 ・吸引 可能 ・経管栄養 可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	送迎あり(要相談)	有
12	主に支援を行っている年齢層	小学校低学年	3歳～7歳前後
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	放課後等デイサービス 個別活動→おやつ→集団活動→帰宅	各自通所してから個別の課題に取り組み15時頃におやつを提供おやつ後に小集団の活動を行う。
14	療育や活動を行う上で子ども達に配慮していること	・特性に応じた活動 ・アレルギー	言語的理解や非言語的理解を軸に何で内容が理解でき意図疎通ができるのかを考えている。 意味のない絵カードやスケジュールにこだわるのではなく、できないの見極めを行い合理的配慮の元で指示を行い環境配慮を行っている。 基本的に永続的に利用する通所事業所と考えるのではなく、プラットフォームである保育園、小学校等に通学する地域で暮らすを実現できるように支援している。
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	・	家庭や学校でも般化できるように刺激の統制を行いどのカードや非言語で認識できるのか評価し行っている。 視覚支援は本人のわかる物を利用して誘導を行う、また時間の概念の認識ができるように配慮し提示し明示している。 個別の療育時にはパーティションや仕切りを使うなど行う。
16	就労している保護者への配慮	・保護者の希望を伺い、送迎	送迎の時間の組み合わせや送迎場所など。 場合によっては利用時間の延長も可能
17	学校との具体的な連携内容	・不登校児の通学へ向けた支援 ・情報提供等 ・支援内容の共有	小学校の担任と連絡をとり送迎時間や事業所での様子を共有している。 またSSW等からの問い合わせなどがあれば情報の共有をし家族支援を行う。
18	利用相談窓口担当者名	管理者 大垣 美貴子	
19	利用相談窓口担当者との連絡がとりやすい時間帯	9:00-18:00	9時～17時

		【南部】	【南部】
No.	種類	放課後等デイサービス	放課後等デイサービス
1	事業所名	㊿toi toi toi 2nd	㊿すくすくハッピーランド
2	住所	青森市西大野3-3-19	青森市大野字若宮57
3	電話	017-718-0271	017-718-3526
4	FAX	017-718-0321	017-718-3527
5	利用日・時間	平日(放課後～17:00) 休校日(9:00～17:00)	営業日:月～金(祝日・お盆・年末年始は除く) 営業時間:9:00～18:00 サービス提供時間:平日下校時間～17:00、学休日11:30～17:00
6	定員	10名	児童発達支援と合わせて10名
7	空き状況(R8.3.1現在)	なし	曜日によって空き有り 要相談
8	スタッフの人数	5名	管理者兼児童発達支援管理責任者 1名 保育士4名
9	車椅子を使用している児童の受入	無	要相談
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	場所、時間によって可	有
12	主に支援を行っている年齢層	小学生低学年	小学1～3年生
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	個別支援、少人数グループ、小集団による支援 午後はおやつがあります	日課 宿題・学習支援 おやつ 個別療育・課題 自由遊び 小集団活動
14	療育や活動を行う上で子ども達に配慮していること	MBL(BBAs)をベースに社会性を育む支援を重点的に行っています。 学習支援(宿題、予習、復習)を行っています。	安心・安全に過ごすための環境設定の整備。 お子様の特性の合わせた支援の提供。 見通しを持って過ごせるよう個々のスケジュールを活用。 無理することなく「自分のペースで」
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援…スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	色とひらがなでの掲示。 個々の児童に合わせて支援が可能です。	物理的構造化:部屋の家具や使用する道具などの配置を工夫 時間の構造化:文字やイラスト、写真などを使用して予定を示す 活動の構造化:やるべき作業や活動内容を理解するための工夫
16	就労している保護者への配慮	LINEでの連絡が可能です	送迎時間や場所等については保護者の要望に合わせて可能な限り対応している。
17	学校との具体的な連携内容	担任の先生とのミーティングや授業の様子を確認したりなど、学校側で可能な場合に連携をしています。	保護者の同意を得てから、必要に応じて学校へ連絡や訪問し、状況把握や情報共有を実施。
18	利用相談窓口担当者名	太田 史香	渋谷 真代
19	利用相談窓口担当者との連絡がとしやすい時間帯	平日9:00～17:00	10:00～17:00

		【南部】	【南部】
No.	種類	放課後等デイサービス	放課後等デイサービス
1	事業所名	㊸こどもサポート教室「クラ・ゼミ」青森桂木校	㊹こどもまんなかランド
2	住所	青森県青森市桂木3丁目20番地5	青森市大野字前田68-142 レジデントいくみ101
3	電話	017-718-2203	017-762-0307
4	FAX	017-718-2203	017-762-0308
5	利用日・時間	月曜日～土曜日（祝日） 9時～18時	営業日:月～金（祝日・お盆・年末年始除く） 営業時間:9:00～18:00 サービス提供時間:下校時間～17:00
6	定員	児童発達支援と合わせて10名	0名（令和8.4開所のため）
7	空き状況（R8.3.1現在）	空きあり（時間と曜日要相談）	空き有り 曜日要相談
8	スタッフの人数	児童発達支援管理責任者1名、指導員5名	管理者兼児童発達支援管理責任者1名 保育士2名
9	車椅子を使用している児童の受入	不可（要相談）	受け入れ不可
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	無	有り
12	主に支援を行っている年齢層	小学生～高校生	小学1～6年生
13	具体的な支援のプログラム（1日の流れについて）	個別支援 1時間 (例)挨拶→スケジュール確認→課題→挨拶→保護者様へフィードバック	日課 学習支援 おやつ 小集団活動 個別療育 自立課題 自由あそび
14	療育や活動を行う上で子ども達に配慮していること	言葉、認知、コミュニケーションに加え、発達に遅れや偏りが見られるお子様には、将来の自立に向けて必要なスキルの習得を促していきます	安心・安全に過ごすための環境設定の整備。 お子様の特性に合わせた支援の提供。 見通しを持って過ごせるよう個々のスケジュールを活用。 無理することなく「自分のペースで」
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	・スケジュールを提示しています(写真やイラスト、文字など、お子様が理解できるものでの提示) ・各ブースをパーテーションで区切っています	物理的構造化: 部屋の家具や使用する道具などの配置を工夫。 時間の構造化: 文字やイラスト、写真などを使用して予定を示す。 活動の構造化: やるべき作業や活動内容を理解するための工夫。
16	就労している保護者への配慮	必要に応じて可能な範囲で対応しています(曜日と時間の変更等)	送迎時間や場所等については保護者の要望に合わせて可能な限り対応している。
17	学校との具体的な連携内容	お子様や保護者様の要望により情報交換等を行っています	保護者の同意を得てから、必要に応じて学校へ連絡や訪問し、状況把握や情報共有を実施。
18	利用相談窓口担当者名	櫻庭 愛子	小笠原 郁子
19	利用相談窓口担当者との連絡がとりやすい時間帯	9時～18時 (InstagramやLINEでのメッセージでもご連絡を受け付けています)	10:00～16:30

【東部】

【東部】

No.	種類	放課後等デイサービス	放課後等デイサービス
1	事業所名	㊴放課後等児童デイサービスやまぶき	㊵ふらわあ
2	住所	青森市雲谷字山吹92-285	青森市大字駒込字月見野918-3
3	電話	738-5564	765-5520
4	FAX	738-6411	765-5521
5	利用日・時間	月～金 13時～16時45分 土 9時～16時45分	放課後利用の日:13:00～17:00 長期休業利用の日:9:00～16:00
6	定員	20名	10名
7	空き状況(R8.3.1現在)	現在受入停止中	要相談
8	スタッフの人数	1～2名(管理者兼務)	6名 (児童発達支援責任者1名、保育士3名、児童指導員2名)
9	車椅子を使用している児童の受入	不可	不可
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	なし	あり
12	主に支援を行っている年齢層	6歳(小1)～9歳(小3)まで	7歳から18歳(小学生～高校生)
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	個別支援のみ 1対1のかかわりの中で、言語認知、社会性、運動等の全般的な発達を促すための支援を実施	授業終了後 登所→手洗い、うがい→個別活動(自立課題・作業学習、運動等)→おやつ→余暇→個別活動[利用時間に応じて活動追加]→17:00帰宅(送迎) 学校休業日 登所→手洗い・うがい→朝の会→個別活動(自立課題・作業学習、運動等)→余暇→[進み具合により活動追加]→昼食→余暇→13:00 個別活動(自立課題・作業学習、運動等)または集団活動、外出(公園遊び、社会体験等)→おやつ→個別活動(自立課題・作業学習、運動等)→余暇→16:00帰宅(送迎)
14	療育や活動を行う上で子ども達に配慮していること	家庭及び学校での状況確認と支援当日の体調や行動面の変化等の情報収集	事業所名“ふらわあ”の由来である小麦粉(FLOUR)は、様々な食べ物に形を変えることが出来ます。ふらわあではお子様一人一人が自分らしく、将来自立して生きていくお手伝いをさせて頂きたいという想いで支援をしています。お子様の性格、特性、強み、望んでいること等をアセスメントし、一人一人に合わせた支援を提供します。関係機関と連携しながら、ご家族と一緒に成長を支えていきたいと考えています。
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援…スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	課題ごとにケースに教材を入れ、当日行う課題の順番や終了の見通しが立てられるように配慮しています。	個別のスケジュール(理解の仕方に合わせた提示方法で)、物理的な構造化(パーテーション等)、情報を視覚的に伝える(絵や写真など)、場面ごとに活動の見通しを持って自分で行って、自分で行動できるように何を、どのくらい、どうなったら終わるのか、次に何をやるのかを分かりやすく伝える(必要に応じて)、絵カード等を使ったコミュニケーション支援など。
16	就労している保護者への配慮	支援予定日に仕事の都合で曜日や時間の希望があった場合、相談に応じています。	ご家族の勤務時間等に合わせた送迎や、受け入れ時間の調整
17	学校との具体的な連携内容	保護者の了解を得ながら担当教諭等と情報交換を行っています。(個別支援の見学等を含む)	送迎時の情報共有、担当者会議、移行支援会議への参加など。
18	利用相談窓口担当者名	岩谷、奈良	品川 育昂
19	利用相談窓口担当者と連絡がとしやすい時間帯	8時30分～16時30分	10時～17時

【東部】		【東部】	
No.	種類	放課後等デイサービス	放課後等デイサービス
1	事業所名	㊸エジソンキッズ青森東	㊹社会福祉法人 清養会 デイサービスセンター ケヤキ
2	住所	青森市造道3-4-15 1F	青森市大字泉野字野脇46-61
3	電話	764-0260	763-4447
4	FAX	764-0261	752-8886
5	利用日・時間	月～金 9:00～17:00 (12/31～1/3を除く)	1登校日 13:00～18:00 2学休日 9:00～17:00
6	定員	児童発達支援とあわせて10名	10名
7	空き状況(R8.3.1現在)	あり	要相談
8	スタッフの人数	6名	児童指導員2名、保育士3名
9	車椅子を使用している児童の受入	可(要相談)	要相談
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	不可
11	送迎の有無	あり(範囲は要相談)	あり(範囲は要相談)
12	主に支援を行っている年齢層	6歳から18歳まで	6～18歳
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	13:00～(長期休みや不登校等)自宅へお迎えか親御さんの送り。 13:00～15:00(通学時)学校がある日は各学校、児童会にお迎え。 15:00～16:001日の流れを伝える。個々のテーマを意識しつつビジョントレーニングを軸として集団活動。晴天時には近隣の公園等で鬼ごっこや虫とり、図鑑で花や鳥観察・分析して考える力を養う。荒天時には、施設内でボール運動等を行いストレス発散し、学びのペース作りと運動能力を養う。その他間違い探しや数遊びなどでコミュニケーション力を学ぶ。 16:00～16:20おやつ、話し合いをして活動を決める。交渉力や自分の気持ちを話すソーシャルスキルトレーニング。 16:20～16:50話し合いで決まった内容に沿って活動。 16:50～お片付け、帰り支度後、各家庭に送り届ける。	小・中・高等部毎のプログラム ※個別学習、余暇、運動等
14	療育や活動を行う上で子ども達に配慮していること	○可能性を伸ばす療育 職場体験、買い物、料理、掃除、運動など、多様な環境を作り、子供の素質と可能性を発見し伸ばす。 ○自信を育てる療育 いけないことをしても指示、命令せずに、気持ちを聞き取り、やり直し、成功体験で終わるように支援する。 ○インクルーシブ教育 社会に出て困らないように、一般参加者とイベント活動を行ったり、昭和の公園のように異年齢の中で生きる力を養う。	個々の障がい特性等に配慮した個別的支援の充実 ※行動障がいの軽減等を効果的に推進するため、PDCAサイクルを活用する。
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	絵カードやタイマー、クールダウンスペースなどの環境整備と子供との話し合いで、その日の構造化を柔軟に行っている。	実施[プログラムの提示等] ※クールダウン等の環境配慮で感覚刺激スペースの確保
16	就労している保護者への配慮	・就業中などにも配慮して、LINEなどの多様な連絡方法で対応 ・親御さんに合わせた送迎時間の調整	要望に応じて可能な範囲で対応
17	学校との具体的な連携内容	不登校の児童が出席認定できるように、施設への出席状況を学校に送付対応している。	必要に応じて、個別支援活動の提示や事業所での様子見学等実施している。
18	利用相談窓口担当者名	内山 秀貴	五日市 清孝
19	利用相談窓口担当者との連絡がとしやすい時間帯	10:00～12:00、13:00～14:00	平日 10時以降

【南部】

【東部】

No.	種類	放課後等デイサービス	放課後等デイサービス
1	事業所名	㊦放課後等デイサービスきらら筒井	㊦放課後等デイサービス まあむ佃
2	住所	青森市筒井4丁目1-26	〒030-0963 青森市中佃2丁目21-4 ブルミエビル101号
3	電話	764-0900	017-718-7078
4	FAX	764-0901	017-718-7079
5	利用日・時間	月～金曜日(祝日営業) 学校登校日13時30分～17時30分 土・日曜日 休 学校休業日10時～17時 第1土曜日営業	〈営業時間〉月～金(平日)午前11:00～午後6:30 学校休校日 午前9:00～午後5:30 〈サービス提供時間〉月～金(平日)午後1:00～午後6:00 学校休校日 午前10:00～午後5:00
6	定員	児童発達支援と合わせて10名	10名
7	空き状況(R8.3.1現在)	応相談	無し
8	スタッフの人数	管理者兼児発管1名 保育士1名 児童指導員3名	管理者兼児童発達支援管理責任者1名 保育士2名 児童指導員1名、指導員1名
9	車椅子を使用している児童の受入	現在は受入無し	受入不可
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	あり	有
12	主に支援を行っている年齢層	小学生、中学生、高校生	中学1年生～高校3年生まで
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	(平日) 送迎、おやつ、学習・個別指導、運動・自由活動、レクリエーション、送迎 (長期休業日) 送迎、学習、運動・自由活動、昼食、個別指導、創作活動 (祝日) おやつ、運動・自由活動、レクリエーション、送迎	順次来所→はじまりの会→個別支援・宿題→集団活動・食育→余暇活動・個別支援→順次送迎
14	療育や活動を行う上で子ども達に配慮していること	・子どもの発達過程や特性、適応行動の状況を理解すること ・信頼関係を築くこと ・楽しさを味わえること ・自己選択、自己決定を促すこと	中学生高校生を対象としていることから、就労をより意識し、社会に適応していくためのスキルを身に付け、卒業後の就労や自立した生活が送れるように支援・配慮している。
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	・物理的構造化(刺激を取り除き、場面設定をする) ・スケジュールの構造化(実物、絵、写真、文字などの方法で示す) ・ワークシステム(時間や量、いつ終わるか、次の活動を示す) ・視聴的構造化(写真と実物を対応させる)	ひとりひとりに合わせたスケジュールの提示。課題、学習、遊び等活動場所を分けるなど、それぞれの場所や場面で何をすればよいか理解しやすくしている。
16	就労している保護者への配慮	応相談	その都度対応している。
17	学校との具体的な連携内容	保護者の同意を得た上で情報交換 緊急連絡体制について	・送迎時にその児童の体調や様子などについての情報共有をする。 ・緊急性のある時は電話での対応を行う。 ・ケース検討会議への参加。
18	利用相談窓口担当者名	児童発達支援管理責任者 倉内 恵里子	管理者兼児童発達支援管理責任者 中村 牧子
19	利用相談窓口担当者との連絡がとやすい時間帯	9:30～17:00	営業時間内

【東部】

【東部】

No.	種類	放課後等デイサービス	放課後等デイサービス
1	事業所名	㊴Eat-in byきらら虹ヶ丘	㊵ゆうきっず ぴあ 2
2	住所	〒030-0948 青森市虹ヶ丘1丁目14-14	青森市けやき2丁目1-7
3	電話	017-762-0037	763-5144
4	FAX	017-762-0096	763-5145
5	利用日・時間	月～金(第4土曜)営業日 (平日)13:30～17:30 (長期休暇)10:00～17:00	月～金 下校時間～17:00 (土日祝・年末年始を除く) 学校休業日 10:00～16:00
6	定員	1日:10名(児発と合わせて)	10名
7	空き状況(R8.3.1現在)	なし	なし
8	スタッフの人数	5名	管理者兼児発管:1名 保育士:1名 児童指導員:3名 指導員:2名
9	車椅子を使用している児童の受入	0名(否)	不可
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	有	あり
12	主に支援を行っている年齢層	小1～高3	小学校1年生～高校3年生まで
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	登所→手洗い・うがい→身辺整理→余暇→おやつ→宿題 →個別課題(集団課題)→余暇→17:20(16:50)帰り支度 →17:30(17:00)降所	【学校終了後】 来所→おやつ→学習(個別課題、宿題)→自由遊び→集団活動→帰宅 【学校休校日】 来所→サーキット運動、学習(個別課題、宿題、買い物学習)→昼食→制作活動→自由遊び→集団活動→自由遊び →おやつ→お掃除→帰宅
14	療育や活動を行う上で子ども達に配慮していること	・自己選択や自己決定が出来る環境作りと関わり ・自己肯定感の向上が図れる様な関わり ・成功体験と失敗体験ができる様、長期休暇や祝日等の活動行事の考察、実施	事業所名「ゆうきっずぴあ2」とは「ゆうー子ども達に願いをたくした言葉、きっずー子ども達、ぴあー仲間たち」という意味があります。事業所に通う子ども達が「楽しい！お友達に会いたい！ゆうきっずぴあ2に行きたい！」と思ってもらえるよう、子ども達の「居場所」となれるよう、ひとりひとりの個性を大切に支援をしています。小さな「できた！」を一緒に喜び、ご家族と一緒にお子さんの成長を支えていきたいと思っています。
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援…スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	・ホワイトボード等で必要な児童に対して1日のスケジュールを文字やイラストで表記	その児童のスケジュールを個別に考え、プランを立てています。施設はオープンでありながら、個別に学習できるスペースを設け、構造化を図っています。
16	就労している保護者への配慮	・連絡帳にて1日の子どもの様子を報告等	要望に応じて可能な範囲で対応
17	学校との具体的な連携内容	送迎時の伝達、又は電話にて担任と様子や相談事などの情報共有。必要に応じて担当者会議。	学校行事の見学 事業所見学の受け入れ 担当者会議への参加 保護者了解を得て学校迎え時担任と情報交換を行っている(個別支援の見学等を含む)。
18	利用相談窓口担当者名	附田 瑞穂	管理者 石村 美樹
19	利用相談窓口担当者との連絡がとりやすい時間帯	10:00～17:00	9:00～18:00

【東部】		【東部】	
No.	種類	放課後等デイサービス	放課後等デイサービス
1	事業所名	㊥児童支援事業所 Neo	㊥児童支援事業所ハピネス(㊥従たる事業所)
2	住所	青森市大字浜館4丁目11-9	青森市大字浜館字見取26-12
3	電話	017-752-1933	017-718-5785
4	FAX	017-752-1934	017-718-5786
5	利用日・時間	月曜～金曜 13:00～17:00	月曜日～金曜日(平日 下校後～17:00) (学休日 11:30～16:00)
6	定員	10名	10名
7	空き状況(R8.3.1現在)	なし	なし
8	スタッフの人数	管理者兼児発管1名 他5名	管理者兼児発管1名、他5名
9	車椅子を使用している児童の受入	要相談	要相談
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	あり (ただし、送迎範囲の指定あり)	有(ただし、送迎範囲の指定あり)
12	主に支援を行っている年齢層	小4～高等部	低学年(1年生～4年生程度)
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	中・高学年 到着後～日課→学習・宿題→当番活動→1対1活動→個別課題活動(自己理解、他者理解、SSTなど) 特別支援学校・低学年 到着後～日課→生活学習→あそび→学習・宿題→おやつ→絵本読み聞かせ・手あそび→あそび→自立課題→小集団活動→おわりの会 ※長期休暇時は、行事や小集団活動を取り入れ、社会経験の充実を図ります。	個別・小集団療育を実施。個々に合わせた支援内容とプログラムを設定しています。 (自立課題・余暇支援・おやつ・個別支援・小集団活動等)
14	療育や活動を行う上で子ども達に配慮していること	学年や発達課題に沿って、個々に合わせた支援を提供しています。特別支援学校、低学年では生活学習にて基本的な生活スキルの向上を図り、雑巾しぼりや掃除の基本の理解、衣類たたみや手洗い、歯みがき指導、調理実習などを行っています。また、見る、聞くなど、就学に必要なスキルが向上できるようなプログラムを設定しています。 中・高学年では、基本的な生活習慣の他に自己理解や家庭作業、道具の操作など将来働くことを見据えること、他者に相談するスキルの向上を図り、個々にスケジュール設定をしています。	自分で「気づく」「わかる」「できる」を支援するために、見通しを持ち自立して行動ができることを目的に支援をしています。
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	構造化支援を実施。1人ひとりに合わせたスケジュール提示とどこで何をやるのか、部屋の配置が分かりやすいようにしている。	どこで何をやるのかのわかりやすいように、構造化支援を実施しています。
16	就労している保護者への配慮	送迎利用あり。臨時利用の受入(支給決定日数内)。	親御さんと相談しながら、可能な範囲で対応。
17	学校との具体的な連携内容	学校へ訪問し、学校での様子を観察。必要に応じ、教員からの相談や対応方法、環境設定等の助言をしている。	学校訪問や必要に応じて会議の開催、連絡等で連携を実施。
18	利用相談窓口担当者名	鹿内 さやか	管理者 鹿内 さやか
19	利用相談窓口担当者との連絡がとりやすい時間帯	9:00～17:00	9:00～17:30 不在の場合は折り返し連絡いたします。

【浪岡地区】

【浪岡地区】

No.	種類	放課後等デイサービス	放課後等デイサービス
1	事業所名	(51)独立行政法人国立病院機構 青森病院 多機能型通所支援事業 あお空	(52)放課後等デイサービス事業所 みらいの里ミント
2	住所	青森市浪岡女鹿沢字平野155-1	青森市浪岡大字樽沢字上野74-1
3	電話	0172-62-4055(内線5501)	0172-69-1234
4	FAX	0172-62-7289	0172-69-1233
5	利用日・時間	月～金 8:30～16:30	平日11:30～18:00 土、学校休業日9:00～17:00
6	定員	5名(児童発達支援、生活介護含む)	10名
7	空き状況(R8.3.1現在)	曜日によって空きあり	曜日によって空きあり
8	スタッフの人数	4名	管理者兼児童発達支援管理責任者1名 保育士3名 児童指導員2名
9	車椅子を使用している児童の受入	可	現状では難しい
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 可能 ・吸引 可能 ・経管栄養 可能 ※人工呼吸器不可能にしておりますが一度ご相談ください。	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	なし(他サービスとの組み合わせで利用可能です)	あり
12	主に支援を行っている年齢層	6歳～18歳	小学校1年生から高校3年生
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	放課後利用:健康チェック、日中活動 休業日利用:健康チェック、日中活動、昼食、日中活動、おやつ (入浴は希望者のみ、曜日によって時間帯が違う)	個別課題、集団活動、軽運動、遊び、SST、おやつ等
14	療育や活動を行う上で子ども達に配慮していること	寝たきりで医療的ケアが必要な利用者がほとんどなので、看護師に付き添ってもらい、安全面に配慮して日中活動を行っている。	個々の障がい特性に合わせて支援の実施 安全面の配慮
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援・・・スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	発達障害の受け入れは通園「あお空」では行っていないが、小児科外来にて学習支援やアンガーマネジメント等実施しています。	絵や文字を使用したスケジュール、ワークシステムの使用 パテーションの設置 活動毎のエリア分け
16	就労している保護者への配慮	特になし	要相談
17	学校との具体的な連携内容	月1回、学校主催で療育会を開催し、情報交換している。 個別支援計画作成に当たり、年1～2回担任とケア会議を行っている。	送迎時や電話での情報共有。 必要に応じて担当学会議の実施。
18	利用相談窓口担当者名	安田 圭吾	坪田和也
19	利用相談窓口担当者と連絡がとりやすい時間帯	月～金 8:30～17:00	9:30～17:00

【浪岡地区】

【浪岡地区】

No.	種類	放課後等デイサービス	放課後等デイサービス
1	事業所名	(53)ここふくプラス	(54)フルーツポンチ
2	住所	青森市浪岡大字銀字前田4番地2	青森市浪岡大字浪岡字平野201-4
3	電話	0172-62-6823	0172-88-7930
4	FAX	0172-62-7489	0172-88-7931
5	利用日・時間	9:00～18:00	月曜日～金曜日・9:00～18:00
6	定員	10名	10名
7	空き状況(R8.3.1現在)	あり	空きあり
8	スタッフの人数	5名	管理者1 児童発達支援管理責任者1 支援員4
9	車椅子を使用している児童の受入	要相談	不可
10	医療的ケアが必要な児童の受入	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能	・人工呼吸器 不可能 ・気管切開 不可能 ・吸引 不可能 ・経管栄養 不可能
11	送迎の有無	あり	有
12	主に支援を行っている年齢層	6歳(小学校1年生)	7歳～12歳
13	具体的な支援のプログラム (1日の流れについて)	下校時の迎え おやつ提供:保護者から希望があった方へ提供 個別活動:個室を使用して職員と1対1で課題に取り組む 集団活動:活動前にルールを確認にして取り組む 自宅への送り	学校へのお迎え おやつ 集団活動:ルールを説明し、ルールに沿って活動する 個別活動:個室を使い、職員と1対1で活動する 自立活動:はじまりからおわりまで一人で活動する 身支度をする 自宅へ送り、もしくは保護者の迎え
14	療育や活動を行う上で子ども達に配慮していること	活動の始まりと終わりのあいさつを身につけられるよう支援 個人の理解度に合わせたプログラムの提供 見通しがもてるよう、視覚支援など障がい特性に合わせた支援方法の実施	学年や理解度、集中力など個人に合わせた支援計画に沿った支援 交通ルールなどの社会ルールの確認や、掃除の仕方など生活スキルの獲得 長期休みなど学校休校日には外出や買い物など余暇支援で経験したことを日常生活に活かせるよう支援
15	発達障害の児童に対する構造化支援(※)の内容 ※構造化支援…スケジュールや部屋の配置等をわかりやすく提示すること。	個人ごとのスケジュール(絵カード)を使用 活動エリアをわかりやすく分ける	一人一人に合わせたスケジュールの可視化 活動エリアを色分けしている
16	就労している保護者への配慮	18時までの迎え時間に対応	送迎有 学校休校日には給食の提供有 18時までのお迎えに対応
17	学校との具体的な連携内容	電話連絡(必要時)	送迎時情報共有
18	利用相談窓口担当者名	白取慎子	児童発達支援管理責任 福士祐介
19	利用相談窓口担当者との連絡がとしやすい時間帯	8:30～18:00	9:00～18:00